

# 福岡大学

学園通信

人と夢を紡ぐ  
コミュニケーションマガジン

No. 43

October, 2013

世界、視野、可能性。そして、夢。  
広がることで、自分が伸びていく。

「  
広がる  
」

FUKUOKA UNIVERSITY

# 「広がる」

木は枝を真つすぐに、空へ。  
川は水を集めながら、海へ。  
そのかたちはさまざまだが  
みなぎる力によって成長を遂げていく。  
出会い、目覚め、学び  
人は自らを伸ばし、大きく広がっていく。

「人材教育」と「人間教育」の共存  
「学部教育」と「総合教育」の共存  
「地域性」と「国際性」の共存

## 【教育研究の理念】

## 建学の精神

思想堅実・稗健中正・質実剛健・積極進取

## 福岡大学の 三つのポリシー

福岡大学は、「建学の精神」に基づいた全人教育を目標として、「教育研究の理念」に掲げる三つの共存をはかることによって、真理と自由を追求し、自覚的で創造性豊かな人間を育成し、社会の発展に寄与することを使命としています。地域に密着し、地域と融合した総合大学として、コミュニケーションを大切に、社会から信頼される人材を育成します。

### アドミッションポリシー

本学の「建学の精神」を理解し、次のような人々を広く国内外から受け入れます。

1. 考え方がしっかりしており独断や偏見にとらわれない生き方を求める人
2. 温和で包容力がありバランス感覚に優れた能力を身につけたい人
3. 誠実で責任感が強く何事にも屈しない人生をめざす人
4. 新しいこと、困難なことに自ら進んで取り組んで行こうとする人

### カリキュラムポリシー

本学の「教育研究の理念」に基づき、すべての学生に提供する「共通教育科目」と、各学部学科に設置する「専門教育科目」の二つを大きな柱とし、それぞれの学部学科の教育目標にあわせてカリキュラムを編成します。また、正課外教育においても、充実した各種教育プログラムを展開し、全教職員で本学学生の人的成長を支援し、全人教育を実現します。

1. 全学に提供する共通教育科目をとおして、専門性にとらわれない幅広い視野と豊かな人間性を持つ人材を育成
2. 各学部学科が設置する専門教育科目をとおして、専門的な知識や技能を高め、社会の進歩や変革に応える深い学識を有する人材を育成
3. 様々な教育プログラムをとおして、国際性と地域性を兼ね備えた21世紀に適用する人材を育成

### ディプロマポリシー

本学の教育課程においては、厳格な成績評価を行い、所定の単位を修め、次の能力を備えた学生に卒業を認定し、学位を授与します。

1. 修得した知識・技能・態度により、自らが発見した新たな課題を解決する力
2. 職業生活、社会生活に必要な知的活動を支えるコミュニケーション能力や論理的思考力
3. 自律しながらも他者と協調して行動でき、社会の一員として社会の発展に寄与できる力

No.43 October, 2013 CONTENTS

## 「広がる」

特集 グローバルな世界へ広がる

〈前編〉特別座談会

〈後編〉国際交流の第一歩は

キャンパスから

充実 Campus Life

理学部地球圏科学科 3年次生

中尾 健人さん

先生の研究

高野行夫 薬学部教授

疼痛のメカニズム解明で、

新しい薬の開発に光を

講義ライブ90分

共通教育科目総合教養科目

「芸術A(西洋美術鑑賞入門)」

作品鑑賞を通して美的感性を磨く

物の見方の幅を広げ、日々を深める

情熱の証

●学術文化部会 歴史研究部

●体育部会 応援指導部 リーダー部門

応援団

時代を駆ける先輩たち

日本コミュニケーションヤ株式会社

人事部採用マネージャー

田坂哲也さん

就活メモリー

●株式会社ふくや

小声 恵美雄さん

●株式会社 同仁化学研究所

岩下 秀文さん

ヒポクラテスの系譜

消化器内科診療部長

向坂 彰太郎 教授(医学部)

目の前の患者さんだけにとまらず

世界中の命を救う 肝疾患研究の第一人者

福岡大学の医療展開NEWS

ココロとカラダ

詩歌を楽しく作って

心のリハビリテーション

FUKUDIARY

ななくま通信

平成24年度学校法人福岡大学

収支決算

平成25年度科研費の採択結果

第2回 福岡大学筑紫病院寄付金募集

寄付者ご芳名一覧

福岡大学 43  
学園通信  
No. 43  
October, 2013

「福岡大学学園通信」は、人と夢を紡ぐ在学生のためのコミュニケーション誌。そして福岡大学の現況や学生の活躍、医療活動などを掲載する広報誌です。在学生だけでなく、保護者の皆さま、地域の皆さまにも広くご覧いただいています。

ソ●初めての日本旅行で訪れたのが福岡で、都会の良いところをたくさん持ち、しかもきれいな街並みにすっかりはれ込んでしまいました。そこで福岡の大学に留学したいと決意。福岡は何より韓国に近

1934年当時からすでに、世界、特にアジアを見据えた全人教育を行っていたという歴史的背景を留学生の皆さんにも知っていただきたいと思います。そして、現在の教育研究の理念の一つには「地域性」と「国際性」の共存を掲げています。グローバル化が進む中、アジアの玄関口である福岡で、地域を支えるとともに、国際的に活躍できる人材を育成し社会に貢献することが、本学の重要な使命だと考えています。留学経験のある在学生、外国からの留学生である皆さんの「世界を、自分を広げる」異文化交流の体験を聞くことは、外国での学びだけでなく、これからさまざまな分野で世界にチャレンジしようとする人の大きな力になるはずです。今日は肩肘張らず、素直なご意見をお聞かせください。まず最初に、留学先に日本、中でも福岡、何よりも福岡大学を選んだ理由を教えてくださいませんか。

ラルワ●母国ネパールをはじめ、東南アジアから見た日本は、今も昔もやはり「経済大国」というイメージが強いです。急成長を遂げた日本の経済発展の歴史を高校の授業で聴き、現地で経済、マーケティングについてより深く学びたいと思いました。福岡に来たのは東京・大阪に比べると家賃、物価が安く住みやすいという知人の勧めがあったからです。こちらの日本語学校に通っていた2年間で自分が進むべき大学をじっくりと考え、外国人でも日本での就職率が高い福岡大学を選びました。

今泉●座談会を始めるにあたり、福岡大学は「福岡高等商業学校」として創立した

留学生たちが日本の福岡そして福岡大学を選んだ理由

今泉副学長の進行で韓国、ネパール、オーストラリアからの留学生と、韓国への留学経験をもつ在学生在が、現地で学びや経験などを語り合った数時間。世界へ視野を広げることの意義、自分の可能性が広がっていく喜び、未来への夢や目標などが浮き彫りになりました。

特別座談会

留学という素晴らしい体験で自分を広げる、世界が広がる

グローバルな世界へ広がる

「グローバル人材」へのニーズが、ますます高まる現在。福岡大学は時代の要請に応え、海外協定校との強いネットワークによる「海外留学」を推進しています。あらためて異文化交流体験で得られるさまざまな知見を紹介しながら、世界へ視野を広げる意義を考えます。



● 教学担当副学長  
今泉 博国 教授  
(経済学部)

自身の海外生活の経験も生かし、留学生にエールを送る。「地域性と国際性を併せ持った人材を育成するべく留学制度や教育プログラムなどをより充実させます」。



● 高学部商学科 3年次生  
ソ・ヘオン さん

学部留学生  
(韓国出身)

新しい自分の発見、将来ビジョンの策定などの機会を得ることが留学のメリットと考えている。「韓国にも、より多くの留学生に来てもらいたいです」。



● 経済学部経済学科 4年次生  
プスバ・モハン・ラルワ さん

学部留学生  
(ネパール出身)

2008年に来日後、日本語学校を経て福岡大学に入学。「キャンパス内の第一食堂は留学生の間でも評判。安くておいしい定食類がお気に入りです」。日本の企業に就職内定。



● マット・ウォレン さん

オーストラリア・グリフィス大学からの交換留学生  
(オーストラリア出身)

グリフィス大学在学中より日本の文化、歴史に興味を持ち複数回にわたり来日。「寮からキャンパスに向かう朝の通学路の雰囲気が好き。1日のやる気が出ます」。



● 人文学部  
東アジア地域言語学科  
4年次生  
山本 みずほ さん

韓国・高麗大学校へ派遣した交換留学生  
韓流ドラマをきっかけに韓国に深く興味を持つように。「ソウル・高麗大学校への交換留学で、語学だけでなく、相手を思いやり、異文化を理解する大切さを学びました」。

業を受講するようになったのですが、議論の場で皆、恥ずかしがらず前に出て発言しようとする姿が印象的です。私も「負けていけない」と、自分を奮い立たせています。

**ラルフ**●私は現在、経済学部経済学科の4年次生です。1年次生の時に比べて、グローバルリズムに対する学生の意識の変化を肌で感じています。以前は留学生として特別な目で見られることが少なくありませんでした。自分から周りの学生に話しかけていかないと、なかなかコミュニケーションが難しかったのです。しかし、最近は積極的に声を掛けてきてくれる学生が増えています。欧米人だけでなく、アジア人の留学生も、より気軽に掛けてもらえるようになり本当にうれいしています。

**ウォレン**●うれいといえは、私は友人だけでなく、いい先生に出会えたことが大きな喜びです。単に日本語を学べるというだけでなく、日本の文化、歴史、経済などさまざまなことを、先生が熱心に思いやりを持って指導してくださいます。そして、やはり施設が充実しているという点もありがたいです。集中して資料を探したり勉強ができるだけでなく、デイスカッションルームも備えた図書館、その他、広々としたグラウンドや体育館など、ほとんど無料で使えるという点に大変満足しています。

**山本**●日本人の学生としての意見ですが、福岡大学は2万人の学生が一つのキャンパスに集まる総合大学であるということが魅力。さまざまな個性に出会えることが刺激的です。

今景●学生の積極的な姿勢や、先生方への評価、充実した施設面など、大学側の立場からするとうれい限りの意見です。そのような留学生生活で得たこと、そしてこれか



留学先のソウル・高麗大の仲間と山本さん(前列左から2人目)。「現地での大学生活だけでなく、多くの方と触れ合い成長できました」。

決め、2年次生の2月から1年間学習しました。本学の学生を学籍上「在学」扱いで協定校に派遣する「交換留学」です。

### 現地で自分自身の目や耳で判断することの大事さ

今景●留学生生活で一番印象に残ったこと、また生活習慣、文化の違いで違和感を覚えたことを教えてください。今度山本さんから、韓国はいかがでしたか。

**山本**●何より、韓国の「温かさに感銘を受けたこと」です。留学に行く前は、韓国に対して親しみを持っていない一方、歴史認識の違いなどで、日本人に対してマイナスのイメージを持たれているのではないかと、少し不安を感じていました。でも、実際には、皆山本さんに親切で、学内でも日常生活でも、さまざまな場面で助けられました。韓国への留学は、現地に行き、自分の目や耳で判断することの大事さをあらためて感じる貴重な経験でした。文化や習慣の違いで印象的だったことは、韓国ではお酒を飲む機会が多く、若者から年配者までお酒文化がより深く浸透しているということです。

### 外国からの留学生が感じた日本文化の不思議さや魅力

**ラルフ**●お酒好きの人が多いというのは、ネパールも同じです。日本より色濃くお酒文化であることも含め、韓国とネパールは文化、習慣で通じるところが多く、韓国人

### 留学で得るのは語学力そして大きく広がる視野



福大生の友人と、中央図書館の食堂「陽だまり」で談笑するウォレンさん。「福岡大学は施設がとても充実しています」。

**山本**●海外で生活することで必然的に語学力が上がりました。さらに、宗教文化、歴史認識など、自分の意見を押し付けるのではなく、相手の話もしっかりと聞き、理解しようとする姿勢、思いやりを持った寛容な心の大切さをあらためて感じました。

**ソ**●私も語学力アップが大きな収穫です。韓国にいる高校時代から日本語を勉強していたので、ある程度は話すことができました。ですが、留学して格段に上達したと思います。それだけでなく、博多弁も使えるようになりました。

**ラルフ**●東日本大震災をきっかけに、「絆」という言葉の意味を深く考えるようになりました。人と人とのつながり、助け合いの精神は国籍に関係なく人間として最も

## 福岡大学の国際化推進プログラム

福岡大学は、国際社会で活躍できるグローバル人材の育成を目指し、海外協定校(現在19カ国・地域51大学1機関)との教育や学術交流を推進。同時に学生が「海外で学ぶ」プログラムを充実させています。

### 留学先で取得した単位を認定 — 交換留学・認定留学 —

交換留学は、学生交換協定に基づき原則として1学年相当期間、海外の協定校に派遣される制度です。一部の学部・研究科では、独自に海外協定校と学生交流協定を締結、交換留学を実施しています。交換留学では留学先大学での授業料は免除され、また派遣学生には本学から留学奨励金が助成されます。

認定留学は、所属学部事前に申請し本学の許可を得て留学する制度です。休学することなく、交換留学同様の学籍上、教務上の取り扱いを受けることができます。本学、留学先大学双方に授業料を支払わなければならないませんが、交換留学の対象となっていない大学、協定校のない国の大学、自分自身で選んだ大学に留学を希望する人にとっては有益な制度です。

### 夏季・春季休暇を利用して語学力を磨く — 短期海外研修 —

本学では、語学力の向上と異文化体験を通して国際感覚を養成することを目的として、3~4週間の海外研修プログラムを実施しています。全学部を対象とする研修プログラムは、本学の協定校であるウオッシュバン大学(アメリカ)、グリフィス大学(オーストラリア)、ニューカッスル大学(イギリス)、蔚山大(韓国)、揚州大学(中国)で実施されており、これまでに延べ1,841人(2012年度まで)が参加しました。また、学部においても専門性を生かした独自の海外研修が実施されています。



思いやりを持った  
寛容な心の大切さを  
あらためて感じました。

山本 みずほ

### 福岡大学は人材と施設と教育環境に恵まれている

留学先の友人と話しているとき、さまざまな共通点に気付かされます。私の場合、日本に来て最初に、日本人の勤め、そして時間を正確に守る規則正しさに驚きました。時間におおらかなネパールの生活に慣れていたので、最初は苦労しましたが、今では授業も5分以上前に席に着くように心掛けています。

**ソ**●日本人の特質といえは、私は「すみません」という言葉を使います。日本人は、ふとしたことでも「すみません」。韓国ではないことです。日本に来て3年になりましたが、いい意味でもそうでない意味でも、日本式のそんな言葉の習慣が身に付いてしまいました。たまに韓国に帰った時とっさに日本語で「すみません」と言ってしまう。

**ウォレン**●ソさんの気持ちがよく分かります。私は、日本のコンビニエンスストアで、話すこともなければ、視線も合わせない接客に違和感を感じていました。しかしここで生活するうちに慣れてしまいました。オーストラリアに一時帰国した際、店員に「元気かい」と声を掛けられ、久しぶりのこ

今景●日本の国技である相撲を多面的に捉えていることに感心しました。さて、それぞれが広い意味で日本、または日本人に対してのお話をさせていただきましたが、より具体的に福岡大学、福大生についてはいかがでしょうか。

**ソ**●キャンパスでは、同じ授業の学生の積極的な姿勢に刺激を受けています。3年次生になってグループディスカッションの授



## 「地域性」と「国際性」の 両面を備えた 人材育成を目指します。

今泉 博園

の文化を直接肌で感じ、自分の世界を広げることができる絶好のチャンスです。福岡大学には留学を支援する制度がたくさん用意されているので、積極的に利用してぜひ留学を実現してほしいと思います。単なる留学ではなく「福岡大学から留学」ということがポイントだと思います。国際交流の経験は就職活動でもアピールポイントになるといっても過言ではありません。

**ラルフ**●外国で学ぶということは、行く前、留学中ともに強い意志が必要です。自分が何のために他国を訪れ、何を学ぶべきなのかをしっかり見極め、常にその初心を忘れぬように。せっかく留学したので、すから内にもこのことを強く気持ちを広く外に向けてください。さまざまな人との出会い、未知な経験の積み重ねは、一生の宝物です。

**ソ**●留学は、語学力をはじめ、自分のレベルを幅広くアップできるチャンスです。留学で自分も知らなかった自分を発見し、それを将来への成長につなげてください。

**ウォレン**●私の言いたいことは皆さんが

話されたので、簡潔に言います。留学は楽しい。交際などいろいろ広がる。そして出合いがいっぱいです。

**今泉**●今回、皆さんとお話して「多様性」の重要さをあらためて感じました。私が研究する環境関連領域でよく言われている「生物は多様性がないと共生ができない」という観点と同じように、言語文化、宗教などの違いがあるからこそ世界が成り立っているのかもしれない。まずは、他国のことを知り、尊重する謙虚な姿勢を持つことがスタートです。「地域性」と「国際性」の両面を備えた人材育成を目指す福岡大学は、留学制度をはじめ「グローバル人材」を育成するシステムやプログラムをさらに充実させていきます。そして真の意味での「国際交流拠点」を目指します。

皆さん、本日は長時間にわたりありがとうございました。

## 留学では生きた言葉を 学ぶことが何より大事だと思います。

ソ・ホオン



## 内にもることなく気持ちを広く 外に向け経験を積み重ねて。

ソバ・モハン・ラルフ

大切なことです。留学生活では正直、勉強とアルバイトに没頭してしまい、思うように人と接する機会を持つことができませんでした。日本で就職が決まったので、今後はより多くの人と出会う場に積極的に向かい、広く深い人脈「絆」を作っていければと思います。

**ウォレン**●日本の文化や歴史を学び、日本人の奥ゆかしさ、繊細さなど「和」の心を自分なりに理解できたのではないかと思います。その経験のおかげで、母国の文化、習慣、国民性に関して、また新たな視点で見られるようになり、自分が広がりました。

**今泉**●ウォレンさんが「和」という言葉を使ってきているのを見て、聖徳太子の十七条憲法第一条「和を以て貴しとなす」という言葉を思い出しました。「和」はいろ

いろな使い方をしますが、憲法で説いた「調和」の心は古来から続く日本人の良さだと思います。ただし、これは日本人のウィークポイントと言われることも多いことですが、極端に同調し過ぎてしまうことには注意しなければなりません。皆さんが留学中に得たもの、感じたことはそれぞれですが、口をそろえるのはやはり語学の上達。外国語を勉強する際、心掛けていることはありますか。

**ラルフ**●第一に、自分の殻に閉じこもらないことだと思います。外国で生活すると、どうしても言葉の通じる、同じ国籍のグループが集まりがちですが、一歩踏み出して他国の人と交流を持つことが何より大事です。私は留学当初、同じネパール人留学生で固まらないように、できるだけ日本

人の中に入っていくようにしていました。

**ウォレン**●自分なりの日本語リストを作ることが習慣にしています。分からない言葉が出てきたら、すぐ電子辞書調べノートに書き写します。そのようにして集めた単語は5,000語近くになりました。それぞれの言葉を組み合わせて例文を作り、読み上げるのも効果的です。

**ソ**●本で学ぶだけでなく、生きた日本語に接することが大切だと思います。それには、会話をするのが一番ですが、家にいるときでもテレビをつけっぱなしにして、耳から日本語が自然に入ってくるようにしています。

## 留学で新しい自分を 発見しそれを未来へ 発展させよう

**今泉**●皆さん、日本語が大変堪能で難しい言葉、敬語もしっかりと理解していることに感服しました。語学を含め、留学で得たものを今後どのように生かしていきたい

## 日本人の奥ゆかしさ 繊細さなど「和」の心を 理解できました。

マット・ウォレン



ですか。

**山本**●おかげさまで航空関係の仕事に就職が決まりました。学部の授業と留学で磨いた語学力を生かして、日本を広く世界へアピールしていきたいです。

**ウォレン**●どのような仕事に就くかはまだ分かりませんが、文化、貿易面で日本とオーストラリアの懸け橋になりたいと思っています。

**ソ**●卒業後はぜひとも日本で働きたいと思っています。山本さんと同じように航空関係もしくは、観光関係の仕事に就職することが目標です。そのために、コミュニケーション力、ディスカッション力に磨きをかけていきたいです。

**今泉**●では最後に、これから留学を考えている、留学に興味を持ち始めている在学生の皆さんにエールとアドバイスを申し上げます。

**山本**●留学は語学の上達だけでなく、他国

福岡大学はグローバルキャンパスを目指して、学内でも異文化に触れ、国際感覚を磨く機会を提供しています。

### 国際交流をバックアップする —留学支援プログラム—

国際センターでは、海外研修や交換留学を志す学生をバックアップするために国際化教育に根ざしたプログラムを実施しています。これは外国人教員による講義・討論形式の特別授業で、国際的視野を広げ、語学力を向上したい人のためのプログラムです。また、エクステンションセンターではTOEFL®で高得点を得るための学習方法を指導する特別講座やTOEFL®模擬試験を実施しています。



### キャンパス内で交流 —外国人留学生の受け入れ—

本学では、協定校からの交換留学生をはじめ、学位の取得を目的とした留学生を積極的に受け入れています。海外留学だけでなくキャンパス内でも、外国人留学生との交流を通じて異文化に触れることができます。



## 福岡大学 国際交流学生ボランティアチーム(FIT)



### 福岡大学で学ぶ留学生のサポートをしながら国際交流

福岡大学では毎年、世界中の協定校から日本語・日本文化を学ぶ研修生や交換留学生を受け入れ、さまざまなプログラムを提供しています。本学では、こうしたプログラムで受け入れる外国人学生への支援活動に参画するボランティア学生を求めています。

海外から日本に来たばかりの外国人学生は、日本語や日本の文化に不慣れなため、住民登録や履歴登録などの手続きにも援助が必要で、国際親善活動を通して、留学生との親善交流を深める良い機会にもなります。

- FITの主な活動**
- 4月 学部留学生新入生の科目登録アドバイス
  - 5月 ウォッシュバン大学研修生受け入れのサポート
  - 5月 交換留学生の太宰府見学引率
  - 6月 交換留学生のホストファミリー
  - 6月 夏期日本語・日本文化研修生受け入れのサポート
  - 9月 交換留学生受け入れのサポート
  - 10月 留学生研修旅行同行
  - 10月 アジア圏協定校との学生交流セミナーのサポート
  - 10月 交換留学生の大相撲観戦引率
  - 10月 交換留学生のホストファミリー
  - 3月 交換留学生受け入れのサポート
  - 時期未定 留学生のための日本語クラスでのアシスタント



留学生日本語クラスのアシスタント、太宰府天満宮をはじめとする各地の見学や研修旅行の引率、生活支援のサポートなど活動はさまざま。

問い合わせ先 **国際センター事務局(1号館1階)**



その日のメンバーの興味や関心に沿ったテーマで会話が進む。



授業や検定試験のテキストを拝見し、質問をする学生もいる。

## English Plaza & Language Plaza



### 在学学生なら誰でも参加自由。外国語を会話しながら学ぶ

福岡大学には、在学学生なら誰でも無料で利用できる国際交流の場があります。文系センター1階の「プラザ50」では、日替わりのネイティブの教員を中心に、在学学生の皆さんが会話を楽しみながら外国語を学んでいます。

2011年からスタートした「English Plaza」は3年目を迎え、利用者の増加に合わせて教員の数と学習スペースを拡大。

毎日通う学生もいて、多い日は1日約30人の学生が訪れるそうです。

さらに2013年5月からはフランス語、ドイツ語、中国語、朝鮮語、スペイン語が学べる「Language Plaza」も開設。留学を目指して学ぶ人もいれば教養の一つとして学ぶ人も。目的はさまざまですがそれぞれに言葉の面白さを知り、日々語学力とコミュニケーション力を磨いています。



コーヒーやお茶も用意され、リラックスして学ぶことができる。

### 2013年度 開設期間等

- English Plaza  
2013年4/9(火)~7/12(金)、  
9/16(月)~12/13(金)  
●12:30~14:30 ●場所:プラザ50
- Language Plaza  
2013年5/7(火)~7/8(月)、  
9/16(月)~10/28(月)  
●12:30~14:30 ●場所:プラザ50  
木曜:フランス語/火曜:ドイツ語/水曜:中国語  
木曜:朝鮮語/金曜:スペイン語

問い合わせ先 **言語教育研究センター事務局(文系センター低層棟1階)**

### English Plaza利用者の声



法学部経営法学科 4年次生 大石 一貴さん

### の声

「English Plaza」の開設当時から通って3年目になります。読み書きは独学でも学ぶことができますが、スピーキング能力は人と会話をする中でしか養えないので私の英語学習にはこの場が欠かせません。ヒアリングとスピーキングに自信を付けて、今秋からベルギーに留学します。

### Language Plaza利用者の声



薬学部薬学科 2年次生 池田 龍一さん

ドイツ語、フランス語、スペイン語を習うために利用しています。その日のメンバーのレベルや興味に合わせた進め方をしてくれるので学びやすいです。将来、海外で働くことを目指し、在学中にできるだけ多くの言語を習得して、コミュニケーション力を高めたいです。

## 国際交流会館 国際交流棟

### 寝食を共にし交流を重ね、国境を越えた友情を育む

福岡大学七隈キャンパスの南側に位置する国際交流会館は2000年4月に「新しい時代の人づくり」を目指して建てられ、地下1階、地上4階の国際交流棟と地下1階、地上3階の合宿研修棟・管理棟で構成されています。

海外からの留学生だけでなく日本人学生も入居できる個室を全100室備えた国際交流棟。同棟の学生委員長を務める商学部貿易学科3年次生の橋本さんは、国際交流棟で暮らす最大の魅力は「学部や学年はもちろん、国籍も違う人たちと暮らすことで自分の考えや視野が広がる」と言います。年に2度、春と

秋に海外から留学生が訪れ、留学期間を終えた学生は帰国していきます。「別れはいつも本当に寂しいですが、今はSNSを使って海外とリアルタイムでつながることも難しくありません。世界中に広がる友情の輪を祝して、毎回盛大なパーティーを開き、留学生たちを送り出しています」と橋本さんは語ります。

国際交流棟では、昼間は福岡大学の職員が複数勤務し、夜間も管理スタッフが見守るため安心して過ごすことができます。各個室には、バス・トイレのほか、ベッドや空調設備、冷蔵庫や電話(受信専用)まで完備。2階には



居住者の共同スペースであるロビーが、各階には自炊のためのキッチンや食事室・談話室があり、そこはまさしく国際交流の場となっています。「ロビーでテレビを見ていて相撲や神社などの日本文化が紹介されると留学生たちが興味を持ち、それをきっかけに例えば「じゃあ次の週末は太宰府に行くか」と寮生が誘って出掛けることも珍しくありません」と橋本さん。

福岡大学の国際交流会館ではこうした交流の輪が芽生えては花開き、世界中にそのつながりを広げています。



国際交流棟 学生委員長 商学部貿易学科 3年次生 橋本 和樹さん



「福岡大学に留学したことで日本がもっと好きになった」と語るのは、ここで暮らすベルギーからの交換留学生ユルン・ファステルナルスさん。



韓国、中国、台湾、オーストラリア、イギリス、アメリカなどさまざまな国や地域から留学生・研修生を迎える。国際交流会館内の大研修室で行う恒例の歓迎会でもが解り合う。

# 充実 Campus Life

自分だけのキャンパスライフがある。ここならきっと見つけれられる。例えは、自分の可能性に挑戦しながら夢を追う中尾さんのように。

「古生物学者」という大きな夢のために  
語学力や交流力を磨き、世界を広げる



理学部地球圏科学科 3年次生  
中尾 健人さん



1「GAP」の授業で知り合った立命館アジア太平洋大学の仲間たちとは互いの家を行き来する仲間  
2野外調査の授業で使う道具と調査内容を書き込む手描きのフィールドノートも日々の努力の証  
3入学当初から所属する医学部のウインドサーフィンサークル「Breezin」で気分転換「ハチヤン堂ベトナム工場」で現地スタッフらと。「内容の濃い4日間でした」と中尾さん  
4学部・学年の垣根を超えて英語を学びたい学生が集まる「Chat room」の仲間たちと

一つ、また一つ  
夢に向かって前へ  
挑戦していくことで  
広がっていく世界

中尾さんには、小学4年生の時から追い続けている夢があります。それは、古生物学者になること。きっかけは当時、家族で住んでいた長崎県佐賀島の遺跡発掘体験。この経験から古生物に憧れるようになり、翌年に千葉県で開かれた「世界最大の恐竜博2002」を見

に行き、神秘に包まれた恐竜のとりこになりました。中学・高校でも古生物学者への夢は揺らぐことなく、古生物学が学べる福岡大学理学部地球圏科学科に進みました。学科では夢の実現に必要な授業科目を振り下げて学んでいる中尾さん。その知的好奇心はキャンパス内では収まらず、1年次生の夏に学生部主催の北海道夏期セミナーに参加。北海道大学総合博物館を訪れたほか、火力風力発電所の見学やアイヌの人々との触れ合いなどがけがえのない経験を重ねました。海外の大学院への進学を考えている中尾さん。2年次生の秋は、福岡大学が開始した「GAP短期集中トライアル」に参加し、留学生

とのディスカッションやプロの劇団員の指導によるコミュニケーション表現など座学以外の学習にも取り組みました。さまざまなプログラムを経てリスニングも上達し、TOEIC®のスコアは「GAP」受講以前より約200点上昇。春には英国のオックスフォード大学へ約2週間の海外研修に参加しました。現地での生活や大学の授業も刺激的でしたが、中尾さんにとって最大の収穫は古生物などの標本を収蔵するオックスフォード大学自然史博物館の見学。日本人の研究者や館長のポール・スミス氏と出会う夢をかかえたいという思いが、いっそう強くなったと言います。同時に「福岡大学春季海外インターン

シップスターアッププログラム」の「ハチヤン堂ベトナム工場」インターンシップに参加。「将来、博物館で働くことも視野に入れ、人の育て方や戦略の立て方、チャレンジ精神を保持する方法を学びました」と振り返ります。この学びを生かして3年次生で振り返り、この学びをスマートフォンのタブレット機器で英語学習をするためのアプリケーション開発に挑戦中です。「寝る間も惜しいほど忙しい毎日ですが、少しでも充実しています」と誇りを輝かせます。大きな夢に向かい、一つ、また一つ、学び、経験しながらレベルアップし、交流の輪も世界も広がっていく中尾さん。挑戦はまだまだ続きます。

## 好きな授業を PICK UP!

### 博物館学芸員課程「博物館実習」

理学部地球圏科学科 秋山 哲男 教授  
馬場 稔 非常勤講師 高田 浩二 非常勤講師

自然系博物館の機能や学芸員に求められる業務や資質を学びます。夏休み前後には実際に博物館施設での実務実習を行い、生きた社会教育の現場に触れて学芸員としての基本的な素養を身に付けることを目標としています。



### 中尾さんメモ①

学芸員の幅広い業務内容や博物館が行っている研究について学びます。博物館単独ではなく、他の施設や機関との連携の取り組みの話など博物館の今を知ることができます。



### 専門教育科目「地球物質科学実験Ⅰ」

理学部地球圏科学科  
田口 幸洋 教授 秋山 哲男 教授 柚原 雅樹 助教

地球科学における野外調査と室内実験の実用的な手法の修得を目的としています。5月にはフィールドワークを行い、現地での地質調査に取り組みます。データ解析、レポート作成までを一連の流れとして理解を深めます。



### 中尾さんメモ②

野外実験も室内実験もレポートを書きますが、見やすく伝わりやすく書くのが難しいです。先生が丁寧に添削して下さるので研究者になるための実践的な勉強になります。



## 挑戦することで広がる世界

### 英国・オックスフォード大学研修 & 「平成25年度 第9回学生チャレンジプロジェクト」

#### 英国・オックスフォード大学研修

「GAP短期集中トライアル」の集大成ともいえるオックスフォード大学での英語研修は「感動の2週間だった」と中尾さん。授業は約15人から成るクラスが2つあり、それぞれに3人の先生がつく少人数制。ディスカッションやプレゼンテーションの機会を豊富に取り入れ、スピーキングの精度と流暢さを徹底的に強化するインタラクティブな授業。ある授業では地図を渡され「ロード・オブ・ザ・リング」の作者が作品を執筆したといわれるバブを探さないか」という課題が出て、オックスフォードの街中を人に声を掛けながら歩き回ったとか。「クラスの皆が仲良く、先生も熱心。また授業を受けたい」と振り返ります。



「オックスフォード大学自然史博物館」を訪れた記念に一枚。イギリスの博物館はどこも入場無料なので自由歩き回りをしたとか。



スタッフでも年に1度しか会えないほど多忙な館長のポール・スミス氏から大学院進学の手助けももらった中尾さん。

#### 平成25年度 第9回学生チャレンジプロジェクト

#### モバイル・ラーニング「TOEFL Bridge」

— 理系分野を中心としたリーディング教材開発 —

中尾さん自身がTOEFL®の勉強をする中で感じた「時間が足りない」「テキスト代が高い」という問題を解決するため、スマートフォンやタブレット機器で隙間の時間に学習できるようなアプリケーションを開発することを思い付きました。まずは学内でプログラミングやデザインに強い仲間を集め、さらに教授や学外の留学生とその友人の力を借りて総勢約20人のチームを結成。「学生チャレンジプロジェクト」に採択され、秋頃の完成に向けて日々作業を進めています。「今の自分の課題は、組織の動かし方。楽しみながら乗り越えたい」と笑顔を見せられました。

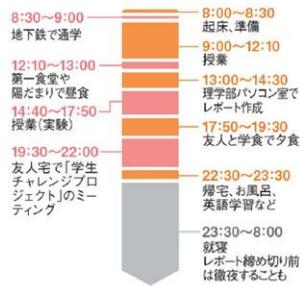


アプリケーション開発のためのプログラミング作業中。それぞれ専門分野を持ったメンバーが集まったドリームチーム」と胸を張る。



アプリケーション内に登場するオリジナルキャラクターたち。英語が上達すると彼らが成長する仕組み。

### 【授業で充実している日の平均的なスケジュール】



## (Question & Answer)

Q これから在学中に  
チャレンジしたいことは?

大舞台でのプレゼンテーション。緊張しやすいタイプで人数の前でプレゼンをするのが苦手なので、それを克服したい。「イングリッシュビーチコンテスト」、「サイエンスインカレ」など自分の意見を自分の言葉で発表する舞台に立ち、志の高い人と出会い、切磋琢磨していきたいです。

Q キャンパスライフを  
ひとこと例えると?

「挑戦」

新しい目標を定め、それに向かって努力していく。辛いときもありますが、諦めないことが必ずかなうと思います。自分を成長させ、器を大きくしたいなら挑戦のみ、です。

# 先生の研究



Professor  
薬学部 教授  
**高野 行夫** Yukio Takano

マウスのてんかん研究のための脳波測定装置を扱う先生、横のコンピューターに送られる脳波やビデオの映像を分析する。こうした研究はチームで行われ、学生もここで装置の扱い方や分析の仕方などを体系的に学んでいく。

## 神経障害性疼痛の解明と治療薬の研究 疼痛のメカニズム解明で、 新しい薬剤の開発に光を

糖尿病や抗がん剤の副作用などによる激しい痛みを抑えるために

病気で、また、薬の副作用で痛みが出てしまふ。患者さんにとってこれほどつらい循環はありません。その痛みを抑えることができれば、薬学部の高野先生は難しい課題と正面から取り組んでいます。糖尿病、末期がん、抗がん剤の副作用などで、中枢神経あるいは末梢神経に障害が起こると、慢性的に激しい痛み（神経障害性疼痛）が生じます。この痛みの特徴的な症状の一つであるアロディニアは、日常生活で起こるささいな刺激、例えば、服が皮膚に接触する時でも強い痛みを感じるのです。先生によるとこの痛みは、モルヒネなど強い麻薬性鎮痛薬が効きにくく、効果的な薬剤の開発は焦眉の急です。「常に謙虚な姿勢で、体の仕組みを解明すること。その研究成果が、新しい薬の開発へのヒントになれば」と思っています。少しでも早く、痛みが苦しみ患者さんのお役に立ちたいと願うばかりです。と、日頃の温顔がぎりりと引き締まっています。先生が現在の研究に進むきっかけは、1枚の電子顕微鏡写真にありました。

### ファージが大腸菌に吸着する電子顕微鏡写真が人生の転機に

先生は大学で生物学を学び、電子顕微鏡のトッパメーカーの応用研究室に就職。入社後

「新しく開発された透過型走査電子顕微鏡の性能を世界にPRするために、インパクトのある写真を撮ることを任せられました。そこで先生はファージ（細菌に感染して増殖するウイルス）が大腸菌に吸着する写真に挑戦したのです。電子顕微鏡で観察するために、ファージと大腸菌の試料を金属イオンでコーティングする必要があります。しかし、観察のためにコーティングした厚い金属イオンでは、鮮明な画像は得られません。

試行錯誤を繰り返して、行き詰まっていたある時、先生は天から返ってきた友人さんが天から揚げるのを見ていました。衣を薄くサッとたたきつけて揚げるエビ天は、エビの姿がそのまま保たれています。ひらめくものがあり「金属イオンを薄くするのは、金属イオンをコーティングするのではなく、この天ぶらのようにサッとたたき付けばいい（イオンスパッタリング法）」と。そしてついに撮影は成功。ファージが大腸菌に吸着する様子を写した、世界初の透過型走査電子顕微鏡のカタログで使われ、製品は世界中で大ヒットしました。また、その写真は40年以上を経た現在でも、高校の生物学の教科書に用いられています。先生はこの経験から研究の奥深さと、結果が出たときの達成感、充足感を知り「もっと研究をしたい」「新しいものに挑戦したい」との思いを深めました。

学究の徒を志し、27歳で福岡大学薬学部の薬理学研究室の助手に。ゼロから薬理学の研



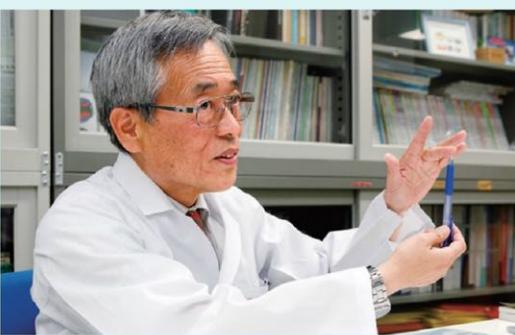
世界で初めて、ファージが大腸菌に吸着する電子顕微鏡写真の撮影に成功。この写真は、現在も高校の生物学の教科書に用いられている。

研究室のメンバーと。学生には、①Love People (利他的な精神、他人の思いやる、人を愛する) ②Keep the rules (約束を守る) ③Faith (誠実、正直に行動する) を心掛けるように指導している。

究に入ったのです。この助手時代にアメリカ・セントルイスのワシントン大学医学部神経生物学教室へ約2年間留学しました。「段ボール10個分の生活必需品を持ち、妻と1歳の子どもを連れてアメリカに。ワシントン大学の医学部は多くのノーベル賞受賞者を輩出しており、神経生物学ではトップレベルの環境です。最先端研究の楽しさと厳しさを十分に経験しました。異国で頼れるのは家族だけです。自然に絆が深まったのもうれい取獲でした。教室では自律神経の研究を行い、最終的には米国神経科学会での発表で注目を集めるほどの成果を挙げました。この留学によって、自律神経の研究を自身の研究テーマと定め、それが現在の研究へとつながったのです。

### 神経障害性疼痛とCCCL1の関連性を世界で初めて証明

2013年。高野先生は、本多健治助教やかつて本学大学院生であった国立生理学研究所の秋元望博士らと共に、神経障害性疼痛には情報伝達を担うタンパク質のケモカインの一種であるCCCL1 (C chemokine ligand) が深く関与していることを世界で初めて証明することに成功しました。「この仕組みの解明が、モルヒネでも抑えることができない、慢性的な激しい痛みを苦しむ多くの患者さんを救う新規の薬剤開発につながることを期待しています。また、疼痛発現メカニズムの解明の糸口となつて、神経障害性疼痛の予防・治療に貢献できればと思います」と熱く語る先生。この研究の成果は今年5月にカナダ・トロントで開催された「第4回国際神経障害性疼痛会議」で発表後、英科学誌電子版をはじめ日本の新聞などでも取り上げられ、世界的に注目を集めました。



「研究室では、学生のグローバル感覚を養うため、海外の学会に積極的に参加することを指導しています。また今年度から、大学院の講義は一部英語を交えて行っています」と先生は語る。



### 研究メモ

#### 抗てんかん薬の研究開発

先生のもう一つの大きなテーマは「抗てんかん薬の研究」です。てんかんは、さまざまな原因による脳神経の異常興奮によって生じ、国民の約1〜2%がかかる神経疾患の一つです。現在、医学部の廣瀬伸一教授、先生の研究室の高藤亮子講師らと共に「福岡大学てんかん分科病態研究所」において研究を続けています。研究により、世界で初めて動物モデルで、自然発症てんかんを観察することに成功しました。この動物モデルを用いて、今後はてんかんの発症メカニズムを解明し、抗てんかん薬の創製やてんかんの病態研究をしていきます。

# 講義ライブ90分

共通教育科目 総合教養科目  
**「芸術A」**  
 (西洋美術鑑賞入門)

## 作品鑑賞を通して美的感性を磨く 物の見方の幅を広げ、日々を深める



### 美術を鑑賞し、美術館に行きたい という気持ちにさせる授業

「この授業をきっかけに、美術にもっと興味を持ってもらいたい」と語る浦上先生。担当する「芸術A(西洋美術鑑賞入門)」では、イタリア・ルネサンスを主とする西洋近世絵画の代表的な作家とその作品を鑑賞し、その特性や時代背景についての理解を深めます。しかし、授業の初回のテーマは、あえて現代美術に。その意図を聞きました。「現代は漫画やフィギュアも美術館に展示されるなど、さまざまなジャンルが美術とされるエキサイティングな時代です。初回の授業では、学生たちに身近な作品を通して、現代美術の多様性とその魅力を伝えます。また『世界の美術館』をテーマとした授業を数回設け、ルーヴル美術館やウフィツィ美術館など世界の名だたる美術館も紹介。『実際に見て感じ

ることが最も効果的な学びです。学生たちが海外旅行や留学で行く可能性が高い美術館をピックアップしています」と浦上先生。福岡大学は太宰府にある九州国立博物館のキャンパス・メンバーズ会員であり、福大生は同館の文化交流展(平常展)を何度でも無料で特別展も割引で観覧できます。先生は「福大生ならではの素晴らしい特権を大いに活用してほしい」と付け加えました。

授業で使用する資料をインターネット上の学習管理システム「 Moodle 」で公開しているのも大きな特徴です。「受講者なら誰でもダウンロード可能です。授業に使用する資料は事前にアップロードするので予習にも利用できます。さらに授業に関連したさまざまな情報もここで提供し、授業を受けてより深く知りたくなった学生の向かいような気持ちをサポートしています。あらかじめ資料

をプリントアウトして授業に臨む学生も少なくないそうです。

### 授業中には音楽でリフレッシュ 集中力や感受性をさらに高める

9回目となるこの日の授業は、「マサッチョオ・15世紀絵画の革新者」と題し、この時代の絵画を見るポイントや時代背景、画家について視覚的に分かりやすく紹介。15世紀初頭にイタリアで活躍した画家たちから「二点消失透視図法」という遠近法を完成させたブルネスキ、そして15世紀絵画の革新者と評されるマサッチョオの絵画へと授業は展開していきます。

「聖母子と天使たち」という同じ主題でも、肉体の重みを表現するマサッチョオと洗練された優雅なマゾリーノの絵画では表現が明らかに異なります。2人の絵を対比させながら、学生数人に「どちらの絵が欲しいと思いますか」と尋ねる浦上先生。学生はそれぞれ欲しいと思う絵を答えます。

「好みが分れましたが、それで良いのです。美術にはどちらか一方が優れているということはありません。美術は時代や地域によって違うものなので、そのことをわきまえた上で見なくてはいけません。先生はこのようなスタイルで学生を刺激します。」

「スライドを見せればかりだと、学生の集中力が持続しません。タイミング良く質問を挟み、気分を変えています。学生の能動性を促すための、浦上先生流の配慮です。」

学生への配慮は他にもあります。この日の授業では中盤に、先生がそれでは、「こで音楽の時間です」と語りかけ、ベートーベン(『遙かな恋人へ』)が教室に流れました。学生たちは黙って目を閉じ、音楽に耳を傾けます。この授業では、毎回こうした

### 浦上先生が薦める福岡県内の博物館・美術館

- 九州国立博物館  
10月12日~12月8日「尾張徳川家の至宝展」を開催
- 福岡アジア美術館  
アジアの「いま」と出会う美術館
- 福岡市美術館  
10月からリニューアルオープン
- 福岡市博物館  
なんと言っても国宝の「金印」が収蔵品の目玉

他にも「久留米市の石橋美術館、北九州市の市立美術館や北九州市立いのちのたび博物館も推薦します」と教えてくださいました。

### Student's voice

#### この授業を受けてから 美術の見方が変わりました。

理学部地球園科学科 1年次生 堤友梨奈さん

授業では美術作品がどのように作られたのか、その時代背景や作者の思いを知ることが出来ます。今までは美術館に行って絵を見て「きれい」「好き」などの感想で終わっていましたが、今はその作品の深い部分を知りたいと思うようになりました。授業を通して、物の見方が変わったような気がします。いつか美術館巡りが目的の海外旅行をしてみたいです。



#### 初回の授業に強い印象を受け 興味の幅が広がりました。

人文学部文化学科 1年次生 田中 望美さん

ヨーロッパの芸術文化に興味を持って受講しました。初回は現代美術で、コーラの形をした棺桶をはじめ、どの作品も刺激的でした。また、さまざまな美術館を知り、実際に行ってみたくなりました。この授業のおかげで興味の幅が広がり、物を見る視点が変わったように思います。先生が選定して聞かせてくれる音楽はとてもリラックスでき、お気に入りの時間です。

### My teaching style

浦上 雅司 人文学部文化学科 教授

芸術の授業というと実技と考える人が多いかもしれませんが、多くの人にとっては、美術作品を鑑賞する機会の方がはるかに多いでしょう。美術作品は目で見て楽しむのですが、一歩踏み出してその下に隠れた作者の思いや、作られた時代背景などを探っていくとさらに興味は深まり、作品の本質に迫れます。授業では、美術鑑賞を通して「物を見る目」を養い、学生たちが美術館などで本物を見るようになることを目標にしています。



福岡大学には、学部・学科を問わず幅広い教養を学ぶことができる共通教育科目があります。その中の人文科学系科目「芸術A(西洋美術鑑賞入門)」は、1年次生を中心に約300人が履修しています。学生はこの授業で美術の見方を身に付け、感性を磨くのです。





## 豪快「七隈とんび」と共に 14年ぶりに本格的復活

第一記念会堂のステージで練習に励む団員たち。週5回、声出し・演武練習・筋トレなどを行う。

### 体育部会 応援指導部 リーダー部門 応援団

## 日本や世界の歴史をひもとき 部の伝統と歴史を紡いでいく



活動は火曜と木曜の18時10分から19時30分まで。研究を発表する練習を重ね、互いにチェックし合う。

## 情熱の証

「ハーソン」「サークル」、サークルに参加し充実した学生生活を送る。そこでは若々しい情熱が燃え、仲間たちとの強い絆が結ばれている。

### 学術文化部会 歴史研究部

#### 情熱メッセージ



団長  
藤田 大輝さん  
(法学部法律学科 2年次生)

「団員は全学生の範たるべし」という団訓を胸に刻んで活動しています。人を応援することが自分への応援にもつながり、自分に自信を持つようになりました。さまざまな応援活動で人の輪も広がっていきます。

掲げられた大団旗、とどろく太鼓の音、力強く迫力のある声で歌われる応援歌が練習場に響きます。現在8人の団員が在籍する応援団ですが、実は約14年もの間活動が休止状態にありました。そして去年、部を復活させようとする男子学生が立ち上がったのです。それが、現団長の藤田さん。藤田さんは高校時代に野球の応援団活動を経験し、大学では本格的に応援団活動に取り組みたいと決意。しかし入学後に福岡大学の応援団の活動が途絶えていることを知り、がっかりします。「ならば自分が復活させるしかないと思いました。本学職員に応援団の団長を務めたOBがおられ、助言やさまざまな後押しをいただきました。これも幸いでした」と藤田さんは振り返ります。

福岡大学応援団の歴史は1957年に始まります。その年、前身となる「有志会」が発足し、第4代目で「応援団」に。しかし、団員が減り1999年には活動を休止。2003年に1人が入団し、再開するも団員が増えず2007年にやむなく活動を休止。以降は応援指導部リーダー部門の男子チアリーダーが臨時を務めていました。応援団の復活をかけ、熱心に部の勧誘活動をした藤田さん。本年度、その熱意に動かされた1年次生7人が入団。この団員たちの手により、奮然の大団旗を掲げることができ、途絶えていた豪快な振り付けの演武「七隈とんび」も復活しました。今の目標は応援団伝統の高下駄、羽織袴姿で入学式・卒業式に演武を披露することです。



奮然の大団旗。重さ約20kg、野外では風を受け約50〜60kgにもなる。



団伝統の高下駄、羽織、制帽。そして演武会開催時の歴代バンフレット。



今年度は「博多どんたく港まつり」に参加し豪快な演武を披露した。

#### 情熱メッセージ



幹事  
末廣 舞花さん  
(人文学部歴史学科 3年次生)

歴史は年号を暗記するのではなく、その時代の物語を知り想像して楽しむものです。そんな歴史の魅力を伝えるために日々活動しています。歴史という共通の趣味で結ばれた私たちの仲間になりませんか。

歴史研究部は、考古学班、日本史班、世界史班の3班で構成されています。第47代幹事を務める末廣さんをはじめ、46人の団員はもろろん歴史が大好き。日頃の活動は週一回、班や個人で決めたテーマに沿って研究を進めています。「歴史研究部は机に向かい、個々で文献に没頭していると思われがちですが、私たちはむしろディスカッションを大切にしています。文献に書いてある全てが正しいというのみにするだけでは研究は広がりませんし、それでは読書と何ら変わらず面白くありません。その時その人物の決断や行動の意味、背景を想像し、皆と議論を重ねることで一人では発見し得なかった切り口や意見に出会えます。こうして別の角度から研究を進めていくことで、歴史研究部の魅力であり醍醐味です」と末廣さん。

こうして得た研究成果を発表する機会には、学術文化祭と七隈祭です。数カ月かけて班ごとに深めてきた研究を模造紙にまとめ、分かりやすく伝える。部員たちはこの経験を通過してプレゼンテーション能力を磨きます。また年に一度、学術文化祭の時期に発行する部の機関誌「七隈」に発表する論文に挑む部員も。末廣さんは「研究発表を通して歴史の面白さを伝えるのが部の使命。創部もなく創刊された「七隈」は、私たちの代で記念すべき50冊目になります。機関誌は、生形に残りますし、先輩方から受け継いだ部の歴史と使命を次へつなぐための懸け橋でもあります」と語ってくれました。



部の機関誌「七隈」。卒業生の研究論文も掲載し、先輩へのオマージュとしている。



世界史班19人、日本史班12人、考古学班15人。研究や発表にも班ごとの色が出る。



歴史に縁の深い土地で合宿を実施。過去には京都や熊本城、広島などへも。

#### 年間行事

- 4月 ● 新入生歓迎ピクニック(演武披露)
- 5月 ● 博多どんたく港まつり(演武披露)
- 9月 ● 九州六大学野球秋季リーグ戦(応援)
- 8月 ● オープンキャンパス(演武披露)
- 11月 ● 七隈祭(演武披露)
- 九州六大学野球春季リーグ戦(福西戦披露)

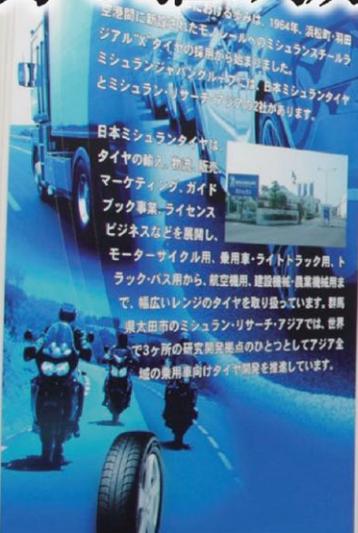
#### 年間行事

- 4月 ● 新入生勧誘週間
- 6月 ● 学術文化祭
- 11月 ● 七隈祭 出店・展示発表
- 5月 ● 新入生歓迎ピクニック
- 8月 ● 前期合宿
- 12月 ● 個人研究発表大会 / 冬季史跡見学
- 2月 ● 春季合宿
- 3月 ● 後期合宿

# 商店街の少年時代と 福大での青春時代を両輪に、 世界というサーキットを 全速力で駆け抜けていく。

に、世界でもっとも有名なシンボルキャラクターの一つとして知られ、ポスターやグッズを収集する熱心なファンも多く、「ピバンダム」の愛称で人気を集めています。

また、2000年には国際的な審査団体によって「20世紀が生んだ最高のキャラクター」にも選ばれました。



日本ミシュランタイヤ株式会社  
人事部  
採用マネージャー  
**田坂 哲也**さん  
理学部化学科 1991年卒業

「日本ミシュランタイヤ」のオフィス1階にあるギャラリー。100年を超える企業史とミシュランを支えた人々の事績を振り返り、最先端技術の裏にある情熱の一端を垣間見ることができる。

## 商店街の店と福岡大学が ユニークネスの根源

夕日に赤く染まる商店街。その一角の生花店。店先で楽しげに客と話す少年がいます。肩託のないその明るさに、つい引き込まれたのでしょうか。お客さんは大きな花束を購入しました。「毎度ありがとうございます。傍らで父母がうれしそうに少年を見つめていました。紅葉が美しい七隈キャンパス。その一角の研究室。懸命に実験に取り組み青年がいます。座学より実習が好きで、走りながら考える。その行動力は、就職活動にも大きな力を発揮し始めていました。

夕日の中の少年、研究室の青年の名は、田坂哲也さん。世界的タイヤメーカー「ミシュラン」の一員として、世界をステージとするさまざまなミッションを成功させてきました。その田坂さんの原点は、商店街と福岡大学だったのです。

フランスを本拠地として世界170カ国以上で事業を展開する「ミシュラン」。1889年の創業以来、車だけでなく自転車やベビーカーのタイヤも製造しています。共に働く仲間がフランス人、アメリカ人やフィリピン人とさまざまな中で自分という存在を際立たせ、周囲に認められて仕事をすることはユニークネス（Uniqueness）唯一無二の個性が必要で、田坂さんのユニークネスの根源は、実家の生花店を手伝いながら養った「もつと」に立ち寄ってもらいたい「もつと」廃棄する花を減らしたいという問題提起、解決能力として福岡大学で身に付けた行動力です。「福大魂は私の誇り」と田坂さんは胸を張ります。



## ④ INFORMATION

### 就職・進路支援センターからのお知らせ

就職・進路支援センターでは、学生の皆さんにさまざまな支援行事を開催しています。積極的に参加してください。

#### 10月～12月の行事予定

##### 4年次生・大学院2年次生対象

##### 10月～12月

- 学内合同企業セミナー
- 学生アドバイザーとの就職なんでも相談会
- 地元中小企業魅力発信セミナー

##### 3年次生・大学院1年次生対象

##### 10月

- 業界研究セミナー
- 学生アドバイザーとの就職なんでも相談会
- 地元中小企業魅力発信セミナー

##### 11月

- 第3回就職ガイダンス「面接対策編」
- 就職実践マナーセミナー
- 採用試験対策プログラム
- 第1回集団面接編
- 学生アドバイザーによる個別相談会
- 公務員採用試験ガイダンス

##### 12月

- 学生アドバイザーによる個別相談会
- 学内個別企業説明会
- 採用試験対策プログラム
- 第1回グループディスカッション編
- 第2回集団面接編

##### 1・2年次生対象

##### 10月～12月

- 将来設計セミナー

##### 11月

- 春季インターンシップ募集説明会・体験報告会

##### 全年生対象

##### 10月

- スペシャリストガイダンス

##### 11月

- 卒業生との就職懇談会
- 東京駐在員との就職情報交換会

### 支援行事

就職・進路支援センターでは、あらゆる就職・進路に関する相談に、専任のスタッフをはじめキャリアカウンセラーや進路相談員(就職アドバイザー)が応じています。気軽にご相談ください。

支援行事日程や詳細については、FUポータルや学内掲示、就職・進路支援センターのウェブサイトをご覧ください。

先輩たちのあの日、あの時。そのリアルな経験を在学生の皆さんに。

### 就職サクセスチャート

- 4年次5月** ふくやに内定。接客業に就きたいという夢をかなえた。
- 4年次4月** 周囲のアドバイスのおかげでエントリーシート作成が上達。書類選考に通過し、面接に進めるように。
- 3年次1～3月** 書類選考で落ち続け深く悩む。周囲の人の意見をよく聞き、立ち直る。
- 3年次5・6月** エクステンションセンター主催の講座を受け、[MOS®]の資格を取得。
- 2年次夏** 接客のアルバイトを始めてから、自分の笑顔でお客さまも笑顔になってくれるように喜びを感じるように。
- 1年次春** 積極的に自分から話し掛け友人の輪が広がり、だんだんと学生生活が色づき始めた。

※MOS=マイクロソフトオフィススペシャリスト



エントリーシートの添削や面接の指導も受け、自分の言葉でようやく伝えられるようになったのは4年次生の春。その効果もあって、これまでふくやに内定。そして今、小芦さんは念願だった接客業の面白さと奥深さを知るほどに、この仕事を突き詰め、広げていきたいくなりました。そして新たな意欲に燃えています。

### 就活アドバイス

#### 落ち込む時こそ成長の機会

書類や面接で落ちると気持ちが悪くなりますが、そんな時こそ周囲の人の意見を聞き、まわりの人にも自分と自分の言葉で伝えられるように、自分のおずと進歩を積み始めます。緊張しやすい私に先輩がくれた「トイレにこもり笑って先輩へ」という助言には今も忘れず感謝しています。

さらに入社4年目を迎えてからは、新しい仕事に就く機会も増えてきました。入社して就活をもっと身近に感じてもらったためのコミュニケーションペーパー「福だより」の編集担当にも就任。年に8回発行する同誌面を通して、「商品の良さはもちろんのこと、ふくやという会社が好きになってほしい」と毎号アイデアを絞り出しながら親しみやすい誌面作りに励んでいます。

現在、会社でも先輩から通う小芦さんは福元大学へも在学中に通学し、出会う機会が多くなるとは、幅広い学業に魅力を感じて入学。2年次生で接客のアルバイトを始め、3年次生の夏休みに学内の制度を利用して、インターンシップ(体育会系の学生の就職支援をする会社)に3週間お世話になりました。就活のことを経験し、午前中は取引先企業に履歴書をつけては合同説明会の案内をし、午後は大学や企業への営業訪問に行き、「電話でのアプローチは初めてかけるたびに心が萎えました。顔が見えない相手だと分かりやすく伝えることが行けない経験は今の仕事にも役立っています」と小芦さん。またお客さまとの臨機応変な対応を実践で鍛えられたことは就職活動の支えにもなりました。その就職活動を本格的に始めたのは3年次生の秋。就職支援センターに申し付け、先輩方の就職体験記に目を通しました。

### インターンシップでの経験が就職活動と現在の仕事の支えに

現在、会社でも先輩から通う小芦さんは福元大学へも在学中に通学し、出会う機会が多くなるとは、幅広い学業に魅力を感じて入学。2年次生で接客のアルバイトを始め、3年次生の夏休みに学内の制度を利用して、インターンシップ(体育会系の学生の就職支援をする会社)に3週間お世話になりました。就活のことを経験し、午前中は取引先企業に履歴書をつけては合同説明会の案内をし、午後は大学や企業への営業訪問に行き、「電話でのアプローチは初めてかけるたびに心が萎えました。顔が見えない相手だと分かりやすく伝えることが行けない経験は今の仕事にも役立っています」と小芦さん。またお客さまとの臨機応変な対応を実践で鍛えられたことは就職活動の支えにもなりました。その就職活動を本格的に始めたのは3年次生の秋。就職支援センターに申し付け、先輩方の就職体験記に目を通しました。



株式会社ふくや  
商学部商学科 2010年卒業  
小芦 恵美華さん

### Success 1

飾らない自分の言葉で伝えることが本質的に合う企業を見つける近道

### 就職サクセスチャート

- 大学院 2年次** 学会発表でポスター賞をもらい、有終の美を飾る。家族のような研究室。修了のときは寂しかったが、新天地への期待感も大きく膨らんでいた。
- 4年次** 研究の面白さに目覚め、朝から夜まで没頭する。大学院への進学を決意。
- 3年次4月** アウトドアスポーツサークルの幹事になる。人々をまとめることの大きさを実感。コミュニケーション能力が磨かれる。
- 2年次** 勉学、アルバイト、課外活動など、大学生活を満喫する。
- 1年次4月** 化学はさまざまな仕事につながるっており、将来役立ちそうと理学部化学科に入学。



さまざまな経験を経て、現在は同仁化学研究所で研究と開発の日々を送っている若山さん。今後の目標を聞くと、「後輩が憧れるような人になりたい。存在がなかったら、そこにいてくれるだけでいい。モチベーションが上がるような人が理想です。」研究開発の要がチームワークであることを深く理解しています。

### 就活アドバイス

#### 一つでもいいから自信が持てることを身に付けよう

実感するのは、学生時代に勉学で優秀だったという経歴は、社会では強い武器にはならないといえます。企業では、周りの人を取り込みながら自信を持って何事にも積極的に取り組む人間が伸びます。勉学以外で自分に自信が持てることを、一つでも身に付けておくことで面接では際立って見えます。

「これでまた研究ができるな」  
恩師の言葉に喜びをかみしめる

若山さんの大きな転機は、研究室の指導教官と出会うことでした。「恩師である塩路先生ですが、意欲がぶつかることも時にはありました。しかし、意見が対立するからといって排除することはない。違う意見にもきちんと耳を傾けてくれる先生でした。」同仁化学研究所を紹介してくれたのも塩路先生

「これまで研究が大好きで、研究室の指導教官と出会うことでした。『恩師である塩路先生ですが、意欲がぶつかることも時にはありました。しかし、意見が対立するからといって排除することはない。違う意見にもきちんと耳を傾けてくれる先生でした。』同仁化学研究所を紹介してくれたのも塩路先生

「これまで研究が大好きで、研究室の指導教官と出会うことでした。『恩師である塩路先生ですが、意欲がぶつかることも時にはありました。しかし、意見が対立するからといって排除することはない。違う意見にもきちんと耳を傾けてくれる先生でした。』同仁化学研究所を紹介してくれたのも塩路先生

「これまで研究が大好きで、研究室の指導教官と出会うことでした。『恩師である塩路先生ですが、意欲がぶつかることも時にはありました。しかし、意見が対立するからといって排除することはない。違う意見にもきちんと耳を傾けてくれる先生でした。』同仁化学研究所を紹介してくれたのも塩路先生

### Success 2

やりたいことをとことん追究する  
打ち込んだことが自信になる

キャンパスでの充実した研究が  
試業開発という未来を開いた

同仁化学研究所は、各種の研究開発製造に不可欠な化学物質(試薬)を扱う企業です。入社5年目の若山さんは開発部に所属し、研究関連の試薬開発に携わっています。「試薬の開発は時間との勝負。常に3〜4種類の試薬を抱えたり、それを決まった期限内に納めなければなりません」と難しい話を語りながら、その研究に求められている試薬をいち早く感知し、形にしていける。お客さまの満足の声を聞くことへの意欲が高まります。『やりがいも熱く伝えてくれます』。

若山さんは大学の3年次生で研究の面白さに目覚め、4年次生では朝から夜まで研究に没頭しました。「もっと研究をしたい。せめてあと2年、研究を続けたい」と思うようになり、そのまま大学院へ、研究の醍醐味を聞くと研究は多くがうまくいきません。それだけに「うまくいったときは喜びで苦勞も忘れてしまいます。しかし、ある課題をクリアすることでまた新しい課題が出てきます。今度はそれを解決していく。その繰り返しで面白い。」七隈キャンパスでの研究生活は、楽しく充実した時間でした。

「これまで研究が大好きで、研究室の指導教官と出会うことでした。『恩師である塩路先生ですが、意欲がぶつかることも時にはありました。しかし、意見が対立するからといって排除することはない。違う意見にもきちんと耳を傾けてくれる先生でした。』同仁化学研究所を紹介してくれたのも塩路先生



株式会社 同仁化学研究所  
理学部化学科 2007年卒業  
理学部化学専攻[博士課程 前期]2009年修了  
若山 秀文さん



「近年注目が高まっている内視鏡手術は傷や痛みが少なく、入院期間も短いのでこれからますます需要は高まっていくと思います」と向坂先生(写真右端)。

# ヒポクラテスの系譜

医師として臨床を重んじ、医師の倫理性を大切にされた古代ギリシアの「医聖」。  
その精神を現代に受け継ぐ、福岡大学のヒポクラテスを紹介します。

## 目の前の患者さんだけにとどまらず 世界中の命を救う肝疾患研究の第一人者

消化器内科診療部長 向坂 彰太郎 教授(医学部)

患者さんの命を救うため  
「沈黙の臓器」と語り合う

肝臓は脳と並ぶ大きな臓器で、体内の化学物質を処理する工場の役割を担っています。2500億個以上の細胞から成り、その半数が死んでも再生。さらに再生している間も他の肝細胞が代わりに働くため、体内で異常な事態が起こった場合に自覚症状が出にくいのも特徴の一つです。そのため症状が出たときには重症化しているケースが多いことから「沈黙の臓器」と呼ばれています。

肝臓を専門とする向坂先生は、さまざまな新しい研究で、世界に名をはせてきました。例えば、肝疾患の中でも難病とされる「原発性胆管性肝硬変」これは胆管という、肝臓で作られた胆汁を腸へ運ぶパイプが破壊されてしまう病気で、肝内に停滞した胆汁が毒性を持つことで肝臓そのものを侵してしまいます。研修医1年目にこの疾病の患者さんを担当したことがきっかけで研究を開始。当時は、原因不明で、この病気に効く薬はないという見解が一般的でしたが、研究を重ねる中で胆管が破壊される過程を解明し、胆石の治療薬である「ウルソ」が使えるのではないかと提唱。この研究により、世界中で救われた命は数え切れないといわれています。

肝臓という研究対象について先生は、「未だに謎の多い臓器なのですが、私は学生時代から解けない謎に挑むのが好きでした。せっかく医学の道に進んだのですから、目の前の患者さんを救う臨床にとどまらず、難病あるいは不治の病とも形容される肝疾患を究め、世界中の患者さんを救いたい」と研究への熱い想いを力強く語ります。



向坂先生の研究発表は、国際的な消化器専門医学雑誌の表紙を何度も飾っている。

### 医師として果たすべき 自分の使命を見定めて研究へ

江戸時代から綿々と続く医師の家に生まれた向坂先生は、患者さんに慕われる親の様子を幼い頃から見て医師を志しました。学生時代に得意だった科目は数学。独創的な解き方で離間に向かうチャレンジャーだったそうです。一方、文学好きでもあり、小説や短歌を作る部活動にも精力的に取り組みました。それでも医師への本心が揺らがないことは、病氣でも、見守る家族の気持ちにむしばまれるだけでなく、治療をすることでも、たくさんの人を幸せにしたい」という強い気持ちで軸になっていました。その思いは今も変わらず、医学部生にはいつも、患者さんを自分の家族だと思つて接しなさい」と教えているそうです。

医学部生時代の忘れられない思い出は、5年の時に1カ月間、スウェーデンのカロリンスカ研究所に留学したこと。本研究所は「ノーベル医学生理学賞選考委員会」の審査委員の主要機関で、ノーベル賞を受賞した医療従事者も多く、それらの教授に大いに刺激を受けたと言います。また滞在

中、現国王カール16世スタッフ、ご成婚されたばかりのシルヴィア王妃と交流を深める茶話会が開かれた。たまたま空いていた国王と王妃の間の席に座り、周囲を驚かせたそうです。笑顔で受け入れてくれた国王ご夫妻を相手して「またとないチャンス」と2時間わたって日本の良さをアピールしました。物おじしないチャレンジャー精神はこんなところで発揮されていたようです。

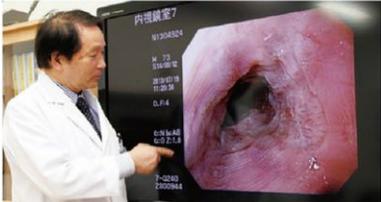
そんな学生時代を経て卒業した後は、臨床の現場に立ちながら臨床の大学院に進みました。電子顕微鏡やレーザー顕微鏡を治療にどう生かしていくかということも体系的に研究し、その後1997年に日本臨床電子顕微鏡学会(現・日本臨床分子形態学会)学会賞を受賞しています。他の人が行ったテーマはやらないというモットーを胸に研究を進め、めきめきと頭角を現してつた向坂先生。転機が訪れたのは卒業して半年がたった頃。開業医だった専攻が肝臓がんで急逝し、向坂先生が病院を継がなくてはという話を持ち上がりました。突然迫られた選択への戸惑い。医院を継ぎ、父が診てくれた患者さんたちを見放せないという責任感の一方で、大学で進めた研究がある。そうした気持ちを読み取ってか、向坂先生にとって恩師の谷川久一教授ならびに先輩が「大学に残れ」と引き留めてくれたそうです。

### 医学の歴史を塗り替える それが研究者のミッション

先輩の助言もあり、大学に残って臨床研究の面で経験を積むことを決意した向坂先生。世界的な肝臓がんの権威であるジェームス・ポイヤール氏に手紙を送り、1985年



アジア圏の臨床拠点を目指す消化器内科は約30人のチームカンファレンスは全員で活発に意見を交わし合う貴重な機会。



内視鏡は検査だけでなく治療にも多く使われる。モニター管理室で各内視鏡室の様子を確認する先生の表情は真剣そのもの。



肝腫瘍を直接焼く「ラジオ波治療」は、内視鏡同様、入院期間が短く体への負担が少ない、注目の治療。

から87年にかけてアメリカのイェール大学に留学、師事します。ポイヤール氏の元で研究したいという研究者は引きも切らず、実際に受け入れてもらえる若手研究者はたった2~3人だったそうです。その後久しぶりに彼の研究室を訪れると、向坂先生の研究ノートが飾ってありました。「君は今までに受け入れた70人以上の研究者の中でも間違いなくベスト3に入る」と最高の賛辞。真つすぐに自分の道を進んでよかったですと目頭が熱くなったそうです。

2000年に福岡大学病院の教授に就任。アジアにおける消化器の臨床センターを目指し、肝疾患においては九州で唯一といえる1700以上の治療実績を誇る。ラジオ波治療や内視鏡を使った最先端医療はもちろん、新薬開発のための治療も積極的にに行い、2007年以降には消化器外科部長の山下裕一教授とタッグを組んで生体肝移植も成功させています。

次世代を担う医学部生や若手医師に対しては、「自分が若い頃に欲しかったものは研究に必要な環境と費用、そして私の場でした。それを用意するのは今の私の役目の一つ。学生たちには「ハードルを高く設定し、人がやっていない研究をやりたい。自分がトップになれる分野を見つけなさい」と常に話しています。「医学の歴史は研究者が日々塗り替えていくものであり、先人が作ってくれた歴史に小さくてもいいから自分なりの1ピースを加えることが医師の使命とも語る向坂先生。やるからやらないか迷ったらず一度やってみてほしい。難病や不治の病と呼ばれる病気を少しでも減らし、一人でも多くの命を救えるような医師を目指してほしい」と彼らの輝く将来を見守るように、目を細めました。



25床の透析ベッドのほか、感染症の患者さんを受け入れるための個室も備える血液浄化療法センター。「慢性腎臓病(CKD)になると、腎移植をする以外は一生透析をしなければなりません。高齢者をはじめとする維持血液透析治療患者への、声掛けなどの細い気配りや、心のケアもスタッフ一丸となって取り組んでいます」と笹富先生は話します。

## 増加する透析患者対策の支柱として 地域医療を担う「血液浄化療法センター」

血液透析、腹膜透析、血漿交換など

福岡大病院 血液浄化療法センター 診療部長 笹富 佳江 准教授

透析患者数は全国で約31万人  
週6日稼働、夜間透析も実施

血液浄化療法とは、血液中にたまった老廃物などを取り除き、体の状態を改善させる治療法の総称です。福岡大病院「血液浄化療法センター」は、「血液透析」「腹膜透析」の導入・管理を柱に、腎移植患者の術前・術後管理など、他科と連携した血液浄化療法を行っています。このセンターは、昭和48年に開設されました。日本透析医学会の集計では透析を行っている患者さんは当時全国で6000人余りでしたが、今や31万人近くに増加しています。透析患者の状況から説明してくれたのは、センターの診療部長である笹富先生。高齢化や、糖尿病性腎症の増加により透析導入患者が増えたとか。センターも時代のニーズに合わせて拡張し、現在25床の透析ベッドが週6日稼働、夜間透析も行っていきます。腎臓は血液をろ過して尿を作り、体の外に排せつするほか、赤血球を作るホルモンバランスの調整などを行う重要な臓器です。腎機能が低下する慢性腎臓病(CKD)は、現在の医療では元の正常な状態に回復しない病気であり、末期腎不全の状態になると透析が必要になります。厚生労働省が定めた腎臓の



「他科とのカンファレンスや、災害時に備えた安全管理学習会を頻繁に行うなど、スタッフが一丸となり質の高いチーム医療を心掛けています」と笹富先生。

血清クレアチニン値が8mg/dL以上、腎機能が10%以下になることが透析導入のおおまかな基準。この状態になると、尿毒症や高カリウム血症、心不全などの重大な問題を起こす可能性があるため、透析や腎臓の移植が不可欠となります。「現状では、腎臓移植はドナー数・臓器の適合性の問題などがあり、現在では透析が主流になっています」と笹富先生は透析治療の重要性を強調しました。

### 充実した医療設備を駆使し 血液・腹膜透析治療を行う

透析治療には、血液を透析器に通し、ろ過して戻す「血液透析」と、お腹の膜をろ過装置

として使い、管を入れて透析液を出し入れする「腹膜透析」の2タイプがあります。血液透析は週に約3回通院で1回4〜5時間、腹膜透析は月に1、2回通院と、血液透析に比べ自由度は高いです。患者さん自身が装置のセットアップ、透析液の交換をしなければなりません。血液透析より残された腎機能を保てるため、当センターでは腹膜透析を積極的に推進しています。自分のライフスタイルを考え、患者さんにとどちらかを選択していただきます」と笹富先生は話します。

血液透析には、細い管状の透析膜(約0.2mm)を約1万本束ねた「ダイアライザー」(透析器)を使います。ダイアライザーの管の中に血液、周囲に透析液を流すと透析膜の微小な穴を通して、血液の老廃物や水分、塩分などが透析液に移動します。このようにして不要なものを除去し、浄化された血液を体に戻しているのです。そして、もう一つ必須のものが「内シャント」。血液透析を行うには、1分間に200mlの血液をダイアライザーに送り込む必要があります。これだけの血流を確保するために、腕の動脈と静脈をつなぎ合わせて太い血管「内シャント」を作り、血液をスムーズに流すことが重要なのです。「内シャント」が作れないケースでは人工血管、カテーテルを使った手術も行っています。さらに、1人の患者さんに1回120Lの透析液を使うため「RO装置」(下記参照)を導入し、水の精製・管理も徹底していることも特長です。

### 最先端の血漿交換療法が話題に 併せて医師などの指導にも注力

透析療法は、血液成分を分離する「血漿交換療法」(アフェ



リンゴも行っています。アフェレンスは、神経、消化器、肝臓、皮膚疾患の患者さんに対して、病因物質を選択的に除去し、必要な血漿を補う最先端の療法です。血液浄化療法センターでは、医師、看護師、臨床工学技士が団結し、他科とのカンファレンスや災害時に備えた安全管理学習会も頻繁に行うなど、質の高いチーム医療を心掛けています。また、外来維持血液透析患者も受け入れているほか、透析医療従事者研修施設として、各地より訪れる医師、看護師、臨床工学技士の研修指導にも力を注いでいます。

■経皮的血管形成術(PTA)で腫れた血管を膨らませる ■PTAにより透析に必要な血流を確保する ■腹膜透析では手術により透析液を出し入れするためのカテーテルを埋め込む ■近年の透析器はタッチパネル式でより扱いやすくなっているほか、血液と透析液を循環させる「ダイアライザー」や透析患者が貧血を起こしにくくする薬などの技術も向上している ■医師、看護師、臨床工学技士が連携

### TOPICS 2

#### 危機管理を徹底し透析カンファレンスも行う

血液透析は、週に約3回通院で1回4〜5時間かかります。患者さんが旅行先の病院でも透析が受けられるよう、また緊急時のために、各自の透析履歴を記した「透析カード」を作っています。また、さまざまな科に入院している患者さんが透析を受けるため、連携した「透析カンファレンス」も密に行っています。



1 患者さんそれぞれに透析カードを発行。外来透析や緊急時のため、透析の履歴や個人情報などが記してある透析患者には、通院のほか院内の他科に入院している患者さんもいるため、さまざまな医師と連携して「透析カンファレンス」を行う

### TOPICS 1

#### 透析には「水」が重要 最新の装置で透析液を作る

「内シャント」や「ダイアライザー」などの医療機器はもちろんですが、血液透析には「水」が非常に重要です」と笹富先生は話します。ダイアライザーへは、1分間に血液200mlと同時に透析液500mlと、大量の水を流す必要があるからです。透析液の量は1回の透析で1人あたり120Lにもなります。血液浄化療法センターでは、透析に最適な水を精製するための「RO装置」を導入しています。特殊なフィルターを通したRO水を使うことで、合併症や感染症が起こりにくくなる効果もあります。センターでは、臨床工学技士が、RO装置の残留塩素、フィルターの入口と出口の圧力を測り正常に水が流れているか、硬水から軟水に変まっているかなど詳細なチェックを毎日行うなど、安全面の管理を心掛けています。



センターの一室にある「RO装置」。この機器で作られる透析液が床下を通り、各透析ベッドに送られている。

# ココロとカラダ



自分を見つめ直し、思いを深めるには最適な季節。今年の秋は「詩歌」を作ってみませんか。感動や発見を素直に表現することは、心にも効果的なのです。

## 詩歌を楽しく作って 心のリハビリテーション

### 日本伝統の短詩形文学 日々の感動や発見を心のままに

五七五という十七音の俳句や川柳。五・七・五・七・七という三十一音の短歌。日本語になじみ音とリズムで、私たちはずっと昔から「詩歌」を作ってきました。日常の中で感じる喜び、怒り、悲しみ、楽しみなどを言葉に託してきました。短詩形文学といわれる詩歌は、日本人の基本的な言語表現芸術なのです。中でも短歌は人間の心や感情を詠む叙情詩であり、万葉の世から現代に至るまで、数えきれないほどの歌が詠まれてきました。内面のさまざまな思いを凝縮した言葉で表現する。自然を写生することと心情を託す。短歌をはじめとする日本の「詩歌」は、実は心の治療にも役立つのです。

### 病院でも行われている詩歌療法 看護学の授業でも短歌を作って

「詩歌芸術療法は精神科病院、高齢者医療施設、緩和ケア病棟、社会福祉施設などで実施されており、その目的は医療従事者とのコミュニケーション

深く広く見る姿勢が身に付き始めているようです。短歌を媒介とした看護の特長をしっかりと学んでいることは言うまでもありません。

### 写生の中に思いを込めて 日記をつづる気持ちで詠む

「詩歌は特別な道具も使わずに、誰でも気軽に作れます。また作る場所を選びません。初心者の場合には見たことをそのまま絵のように文字で写す「写生」から入ることをお勧めします。例えば「今日、通勤途中の列車の車窓から、小雨が降っている。田んぼの中に白い鷺が一羽じっと立っているのを見た。寂しそうだな。私の心境に似ているな」と思ったりします。しかしこれでは、単なる感想です。これを短歌風に写生すると、「小雨降る稲田の中に白鷺の一羽佇む車窓より見ゆ」。しかし、この中には寂しさという感動(心の動き)がありません。次のようにすると感動が伝わりませんか。

### 小雨降る 稲田の中の 白鷺に 寂しさ写す 今朝の 勤め路

短歌を創作するということは、周りを見つめ、自

つくり、患者さんの心の状態の把握などです。また、大学や専門学校ではメンタル領域の看護学の授業で短歌を詠むことが行われています。例えば福岡大学の焼山先生の授業「精神看護学Ⅱ 精神障害と看護」では、学生が実際に作った短歌を教材として「短歌を媒介とした療法」を学んでいます。その短歌を一首、先生の批評・分析を添えて紹介しましょう。

### 先生の批評と分析

「上から見ると雨傘がまるで花のように見える」と表現していますが、素晴らしいのは学生の視点。雲の上へ仮想的な自分を置き、そこから視点をつなげ、色彩やかな花と表現しています。作者の視点がそのまま心の動き(感動、情動、感性など)を映し出して、みずみずしい感性が輝いています。学生たちは短歌を作り始めて「周りに目が向くようになった」「自分自身が見える」「その人の違う一面を知った」「普段話せないことを表現できた」などとコメントしています。自分に気付き、物事を

### 人間関係の距離が縮まり 疲れた心の癒やしにもなる詩歌

分を見つめ直すことです。誰かに見えるものではないから、恥ずかしいこと、人には言えないことでも短歌にしてください。小さな日々の感動を素直に詠めば、その歌は自分の日記に、かけがえのない記念碑になります。リハビリテーションの語源は、ラテン語で「再び回復する」(適する)で「本来あるべき状態への回復」の意味があります。リハビリといえは、身体の機能訓練などを思い浮かべる方も多いでしょう。しかし短歌などの「詩歌」を作ること、リハビリ、心のリハビリテーションの一つなのです。「詩歌」を通して心を自由に表現することは、ストレス発散につながる、心を他者に伝えることでカタルシス効果、癒やしと元氣回復が期待できます。そして何よりも「詩歌」を作ることはとても楽しい。楽しいことを続けられ、心身にとっても良い効果を及ぼすことは皆さんも存じの通りです。この秋は歌人、詩人、俳人に、隠れていた文学的才能を、すてきに発揮してみませんか。

### 短歌や俳句などの「詩歌」を作るメリット

見る、考える、書くことで…

- 自分の内面を深められる
- 日々の感動を印象的に残せる
- 疲れた心の癒やしに
- 芸術的な観察眼を養える
- 字数合わせが頭の体操、ボケ防止に

### 焼山先生選：学生の秀作短歌

先生は看護学の授業で、学生に短歌を詠ませています。その中の秀作を、コメント付きで先生に選んでいただきました。

- 赤や黄に 衣替えした山々は せまり来る冬 ただ待つばかり…………… 観察眼が素晴らしい
- この気持ち 伝えるために来たけれど 私を照らす あなたの笑顔…………… 素直さが出ていて良い
- 三角比 サインコサインタンジェント あなたのへの気持ちは 三角関数…………… 学生ならではの表現



▲先生の著書「こころのうた」(左)、授業「精神看護学Ⅱ」で学生が作った短歌をまとめたもの(右)。

【監修】医学部看護学科 焼山 和憲 教授(専門：精神看護学)  
「精神看護学と統計学」が専門です。1983年に短歌を始めたのをきっかけに、当時看護師として勤務していた精神医療施設で院内クラブ「短歌友の会」を発足し活動しました。短歌の創作活動による看護ケアの効果について、学会や看護雑誌に論文を発表し「短歌を媒介とした看護」を臨床看護界に広く紹介しています。また、授業「精神看護学Ⅱ(精神障害と看護)」では学生に実際に短歌を詠んでもらい、短歌を介して患者さんとコミュニケーションがとれる学生の育成を目指しています。

INFORMATION 若い世代に短詩形文学に親んでもらおうと、福岡大学では2005年より毎年「全国高校生川柳コンクール」を行っています。  
[http://www.fukuoka-u.ac.jp/univ\\_guide/fkus/senryu2013/](http://www.fukuoka-u.ac.jp/univ_guide/fkus/senryu2013/)

### 来てみて 話して ところの整理

## ヒューマン ディベロップメント センターのご案内

(HDセンター：学生相談室)  
ヒューマンディベロップメントセンターでは、カウンセラーが皆さんからの相談を受け付けています。例えば…なんとなくだるくてやる気がおきない、授業などに行くのがおっくう、よく眠れない、または眠り過ぎる、友達の話についていけない、何の話をしているのかわからない、人間関係がうまくいかない、キャンパスの居心地が悪い、勉強がなかなかうまくいかないなど、毎日さまざまな相談に学生さんが訪れます。

生活の中でうまくいなくて困っていて、どうにかしたいと思っている方は、1人で悩まずに、一度HDセンターに来てみませんか？ どんな相談でも大丈夫です。相談内容の秘密は守りますので、安心して相談してください。

**相談時間**  
月・水・金/9:30~16:00  
火・木/9:30~18:40

**場所**  
学生部事務室棟3階  
(1階に学生課のある建物)  
○本学学生のことであれば、ご家族・教職員の皆さまからのご相談もお受けしています。

相談などは無料・予約制です。

予約・お問い合わせ  
**092-871-6631** (代) (内線2630)  
※お電話は平日の16:30までにご利用します。  
HDセンターのウェブサイトもご覧ください  
(<http://www.adm.fukuoka-u.ac.jp/fu816/home1/hd1.htm>)

### グループのお知らせ

後期授業期間、以下のグループを実施しています。「HDセンターに興味があるけれど、まだ行ったことがない」という皆さん、この機会に一度見に来てみませんか？どの学年の人でも参加できますので、関心がある方はお気軽にお問い合わせください。

- **ランチタイムを一緒に**  
おしゃべりやゲームをして、ランチタイムを楽しく過ごしてみませんか？  
● 毎週月曜日 12:00~13:00(ランチグループ)  
● 毎週木曜日 12:00~13:00(サポートグループ)  
● 担当カウンセラー：屋宮
- **社会で役立つ対人関係スキルグループ**  
コミュニケーションや対人関係を改善したい方におすすみます。  
● 毎週木曜日 16:20~17:20  
● 担当カウンセラー：屋宮

●初めて参加される方は、事前にお問い合わせください。

・ オープンキャンパス開催 ・

来春、このキャンパスで会いましょう。

FUKUJDIARY



▲スタッフポロシャツを着た在学生スタッフが構内を案内する。



▲スポーツ科学部主催の元サッカー日本代表・秋田豊氏の特別企画講演には多くの人が集まった。



▲スポーツ科学部は、リハビリテーション室で車椅子バスケの体験を企画した。



▲10時の受付開始を前に、高校生や保護者が続々と。

去る8月3日(土)、「オープンキャンパス2013」を開催しました。当日は猛暑日でしたが、高校1年生や県外からの参加者も多く、受付開始前から行列ができるほどの大盛況。おそろいのポロシャツを着た、教職員と在学生スタッフが12,000人を超える参加者を迎えました。参加者は受付でガイドブックを受け取り、目的の場所を目指して構内各所へ。模擬講義や公開実験、施設見学などに加え、毎年好評の教職員や在学生による個別相談も実施。生の声を通して本学の魅力を体感できる機会に、参加者からの積極的な質問も飛び交いました。受験生にとどまらず、この日が福大へのスタート。七隈キャンパスというゴールで待っています。



▲この日、練習試合に臨んでいたサッカー部を見学する高校生たち。



▲薬学部では最先端機器や研究環境が整った施設を公開。



◀工学部電気工学科では、屋外用移動ロボットを展示。



▲理学部化学科が行った「体感!ケミストリー」での公開実験。



▲人文学部の外国人教員による個別相談コーナーで耳を傾ける高校生たち。



▶受付には朝早くから、長蛇の列が。今年も予定時間を繰り上げて開催された。



▶医学部看護学科では、高校生たちが真剣な表情で看護技術を体験した。



◀希望者には過去の入試問題集の無料配布も。



▲福岡大学附属の大濠高校と若葉高校の紹介ブースも開設。



▲在学生相談コーナーでは、受験や大学生活への助言も。



▲経済学部の模擬講義では、在学生によるプレゼンが披露された。



◀医学部医学科の学生の指導を受け、シミュレーション機器に挑戦。

保護者の方へのアンケート

初の試みとして、保護者の皆さんにもアンケートをお願いしました。「卒業生に公務員が多いことにも注目しています」という意見も。



福岡大学の最大の魅力は、総合大学ならではの「多様な学部・学科」という答えが圧倒的多数を占めて、1位に。



卒業後の進路の第1位は「国および地方を力強く支える公務員」、2位は「世界でバリバリ働くビジネスマン」でした。

高校生の方へのアンケート

延べ330人以上の高校生と保護者の皆さんにアンケートに答えていただきました。「目指す学部が九州では福大ともう1校しかないから」と県外から来学した高校生も。



高校生の皆さんが入学後に楽しみにしているのは「多彩な出会い」や「広大なキャンパス」での学びという結果に。



4つのうち、多くが共感したのは、僅差で「精神進取」と「徳性中正」。積極性と同様にバランスを重視する声も。

◆平成25年度「花嶋環境基金」の奨学金を4人に交付



荒牧工学部長(後列中央)と受賞者の皆さん

7月17日(水)、工学部長室で「花嶋環境基金」の奨学金交付式が行われ、荒牧重登工学部長から、川崎陽裕さん(工学部社会デザイン工学科4年次生)、市川雄治さん(工学部社会デザイン工学科4年次生)、松尾典映さん(工学部建設工学専攻博士課程前期1年次生)、松本 涼さん(工学部研究科資源循環・環境工学専攻修士課程2年次生)の4人に対し、奨学金(30万円)が交付されました。

本奨学金は、花嶋正孝名誉教授(工学部土木工学科、現 社会デザイン工学科)の在職中の研究資金などを基に設立された「花嶋環境基金」から、環境保全技術の向上および発展に寄与する優秀な人材を育成するために交付されるものです。

奨学生の皆さんのさらなる勉勵に期待します。

◆本学水泳部が小学生にウォータースポーツを伝授



指導員や学生のサポートを受けてスイスイと泳げるように

7月10日(水)、福岡県スノーケリング協会の協力を得て、福岡大学スポーツ科学部の田口正公教授と水泳部の学生が、福岡市立横手小学校で6年生を対象にスノーケリング体験授業を行いました。

昨年6月に福岡市内の小学校では初の試みとなるスノーケリング体験授業を実施し、6年間全く泳げなかった子どもが泳げるようになった実績もあり、今年は福岡市立横手小学校の水泳授業でこの体験授業を実施しました。

当日は、同協会の公認指導員と水泳部の学生が、水中マスク・スノーケル・フィン(足ヒレ)の装着の仕方やスノーケルを使っている呼吸の仕方、フィン(足ヒレ)の動かしか方一人一人丁寧に指導しました。そのかいてコツをつかんだ子どもたちは、スイスイと楽しく泳げるまでに上達し、これまで25メートルを完泳できなかった子どもが「泳げるようになってうれしいです」と喜んでいました。視察に来られた福岡市教育委員会、横手公民館、地域住民の方々からも、ユニークな取り組みに称賛の声が上がっていました。

◆つながりを大切に 平成25年度 父母懇談会を本学と全国7会場で開催

6月22日(土)と23日(日)の2日間、本学七隈キャンパスで平成25年度父母懇談会を開催し、延べ2,723人のご父母が出席されました。

この父母懇談会は、日ごろ、本学と接する機会が少いご父母の皆さまと、ご子女の学修、生活、就職・進路などについて懇談するとともに、本学の教育・研究・医療・社会貢献などの現状をご父母の皆さまにご報告して理解を深めていただくことを目的としています。

文系学部はA棟、商学部は2号館を使用。理系の工学部、医学部看護学科、薬学部、スポーツ科学部でも施設・設備などの見学も兼ね各学部の建物内で開催。学長のあいさつ、学部長や教授陣による説明をはじめ、個別相談では、学業成績および科目履修状況、授業の出席状況や就職・進路支援状況についての報告・相談を実施しました。また、ご参加の皆さまには食券をご用意し、学生食堂での食事も体験していただきました。

父母懇談会は、6月に東京、広島、松山、佐賀、宮崎、7月に熊本、那覇の計7会場でも開催し、延べ756人のご父母



2号館(商学部棟)での商学部説明会の様子。前藤卓也学長のあいさつもあり、熱心に関心入るご父母の皆さまで会場は熱気を帯びていた



個別相談での教員とご父母の面談。教員の説明に真剣に耳を傾ける



就職・進路支援センターで就職の疑問や不安について納得がいくまで相談に乗る



中央図書館の学食「陽だまり」では、「明るい」など好評の声が上がった

が出席されました。各会場では、本学同様の説明会や個別相談のほか、本学同窓会「有信会」の地域支部の代表から、卒業生の活躍や地元での就職状況についての説明も行われました。

各会場でお願いしたアンケートでは、本学および父母懇談会に対する多数のご意見、ご要望をいただきました。主なものは、次のとおりです。

- クラス担任の先生やゼミの先生にお会いでき、日頃の熱心な教育指導に感謝しています。
- 大学のことがよくわかり、子どもの生活状況を見に来る良い機会になりました。
- 教育(グローバル人材育成)支援の取り組みは興味深かった。
- 大学から学生一人ひとりにアプローチする機会を作って欲しい。
- 様々なことにチャレンジできるよう、今以上に後押ししてもらいたい。
- 地方での開催は毎年していただきたい。

○福岡大学への寄付者ご芳名一覧

本学に対し多大なるご寄付を賜り、深く感謝いたします。ここに、平成25年1月1日から6月30日の間に寄付いただいた方々のご芳名を掲載させていただきます。

- 168,259,940円  
福岡大学父母後援会 様
- 51,024,095円  
福岡大学附属大濠高等学校後援会 様
- 16,000,000円  
福岡大学附属若葉高等学校後援会 様
- 7,568,258円  
福岡大学附属大濠中学校保護者会 様
- 2,000,000円  
株式会社 エフ・ユー・プロテクション 様
- 1,000,000円  
田中藍株式会社  
代表取締役社長 田中 達也 様
- 508,560円  
福岡大学附属大濠高等学校  
第60回卒業生 様
- 506,420円  
一般社団法人 福岡大学同窓会有信会 様
- 300,000円  
福岡大学名誉教授 荒川 規矩男 様
- 200,000円  
福岡玄海ライオンズクラブ 様
- 200,000円  
株式会社 そうりん  
代表取締役 藤井 富生 様
- 100,000円  
株式会社 九電工 陸上競技部  
事務局長 井手 健二 様
- 100,000円  
山口 正孝 様
- 100,000円  
株式会社 篠原建設  
代表取締役 篠原 隆博 様
- 100,000円  
日本を考える会  
代表 吉原 建男 他29名 様
- 100,000円  
福岡大学教職員組合 様
- 70,000円  
福岡大学指定定章 寮主会一同 様
- 50,577円  
福岡大学附属若葉高等学校 生徒会  
校長 石田 美孝、  
生徒会長 和泉 奈央子 様
- 50,000円  
株式会社 大高屋  
代表取締役 大高 法子 様
- 公益社団法人 日本通信販売協会 様
- 株式会社 福岡リアルティ  
代表取締役社長 松雪 惠津男 様
- 福岡大学学友会総務委員会  
委員長 蔦 顕太 様
- パナソニック システムネットワークス株式会社  
システムソリューションズカンパニー九州社 様
- マイクロバス(トヨタ コースター-GX)  
川端 吉弘 様
- トレーニングマシン 一式  
福岡大学附属大濠高等学校後援会 様
- 絵画2点(松本英一郎作)  
「河川敷の風景」「さくら・うし」  
松本 泰子 様
- 講堂兼体育館 放送設備 一式  
平成24年度福岡大学附属若葉高等学校  
卒業生(372名)一同 様
- ダイヤル錠付ロッカー(12人用) 5台  
第36回福岡大学医学部医学科  
謝恩会実行委員会 様
- 福岡大学附設保育所(信明保育園)外構改修工事  
社会福祉法人 泰生会 様
- 福岡大学電気工学科同窓会「福電会」 様
- 折りたたみチェア用1段縦積台車 9台 一式  
福岡大学スポーツ科学部 平成24年度卒業生一同  
卒業生代表 青柳 遼 様
- 卒業生名簿および展示ケース  
平成24年度 福岡大学附属大濠中学校  
卒業生一同 様

◆東日本災害ボランティア「第3次 福岡大学派遣隊」を派遣



結団式で決意表明をする派遣隊学生リーダーの前田光太郎さん

昨年に続き、東日本災害ボランティア「第3次 福岡大学派遣隊」を組織し、8月26日(月)に被災地に派遣しました。今回派遣したのは、学生26人および教職員4人の合計30人。6月10日(月)以降、災天下での地域清掃活動による実践訓練、救急救命講習などの事前研修とグループワークを重ねるなど、災害ボランティアに必要な準備を進めてきました。

活動は8月27日(火)~29日(木)の3日間、宮城県(仙台市、気仙沼市、南三陸町)で瓦礫撤去、清掃、仮設住宅訪問等の活動を、8月30日(金)には、現地の東北学院大学の学生と交流し、意見交換等を行いました。

ボランティア活動の詳細については、学園通信冬号(平成26年1月15日発行)に掲載する予定です。







## 第2回

福岡大学筑紫病院寄付金募集

# 寄付者ご芳名一覽

福岡大学筑紫病院は、昭和60年7月に開院し、現在まで関係各位のご支援をいただきながら順調に発展を続けてまいりました。

しかしながら開院から27年を経過し、施設および設備の老朽化・陳腐化による医療機能の低下は否めません。そこで、地域医療支援病院として地域を支えるよりよい医療機能を備える施設となるよう、平成23年3月から新病院の建設事業を開始し、平成25年5月7日に開院いたしました。

福岡大学では、新病院建設資金の一部に充当するため、平成24年1月から当該事業にかかる募金活動を行っております。

この募金の趣旨にご賛同いただいた皆さまから、任意のご寄付にもかかわらず、多大なるご協力が寄せられておりますことに深く感謝いたしております。ここに、ご寄付をいただきました方々のご芳名を下記要領のとおり掲載させていただきます。

昨今の厳しい経済事情の折、誠に恐縮ですが、今後もご支援とご協力を賜りますようお願いいたします。

### ■寄付者ご芳名掲載要領

一、本号では、平成25年1月1日から6月30日までの寄付者のご芳名を掲載します。

二、卒業生、在学生のご父母、名誉学長、教授、職員・役員、企業等法人、その他という募金対象者の区分ごと（寄付金額の多い順、およびご芳名は五十音順）に掲載します。

一、分割での払い込みの方は、平成25年1月1日から6月30日までにご寄付をいただいた金額と募金期間中の累計金額を（ ）で掲載します。

二、今回は、平成26年春号（平成26年4月25日発行予定）に掲載する予定です。

※同じ方が卒業生、職員等別々の立場でご寄付をされた場合は、それぞれの欄に掲載させていただいておりますのでご了承ください。

※（免稅措置について）

本募金は、原則として、個人法人を問わず寄付金控除の対象となりません。詳しくは「募金趣意書」に記載しておりますのでご確認ください。

※「福岡大学筑紫病院寄付金募集」の募集期間は、平成24年1月から平成26年5月までとなっております。



今年5月7日に開院した新病院外観

### ■寄付金受入状況【募金対象者別】

平成25年6月30日現在

募金対象者	寄付人(法人)数	寄付金額(円)
卒業生	101	7,910,000
在学生のご父母	109	5,596,000
名誉学長・教授	25	1,550,000
職員・役員	261	9,268,000
企業等法人	51	31,530,000
その他	2	100,000
合計	549	55,954,000

### 募金に関するお問い合わせ先

**福岡大学 財務部財務課**  
〒814-0180  
福岡市城南区七隈八丁目19番1号  
TEL 092-871-6631(代)  
内線 2313-2316  
FAX 092-862-7204  
E-mail zaimuka@adm.fukuoka-u.ac.jp

**名誉学長・教授**  
松岡 雄治 様 三十万円  
満留 昭久 様 五十万円  
牛島 震吉 様 五十万円  
西園 昌久 様 五十万円  
實来 和巳 様 三十万円  
有吉 朝美 様 三十万円  
五郎丸剛志 様 二十万円  
大木 茂 様 二十万円

川下由香里 様 川下由香里 様  
重松 秀子 様 重松 秀子 様  
田村 和夫 様 田村 和夫 様  
西山 道代 様 西山 道代 様  
野島三千代 様 野島三千代 様  
福本 洋美 様 福本 洋美 様  
二見喜太郎 様 二見喜太郎 様  
山口 美和 様 山口 美和 様  
山本 聡 様 山本 聡 様  
岩崎 宏 様 岩崎 宏 様  
大村久美子 様 大村久美子 様  
藤原さおり 様 藤原さおり 様  
池田 雅文 様 池田 雅文 様  
井手 俊輔 様 井手 俊輔 様  
後藤 妙子 様 後藤 妙子 様  
坂丸 ルミ 様 坂丸 ルミ 様  
西山 智子 様 西山 智子 様  
山方 健司 様 山方 健司 様  
青井 梨恵 様 青井 梨恵 様  
赤司美由紀 様 赤司美由紀 様  
安藤 美希 様 安藤 美希 様  
井形 智子 様 井形 智子 様  
石丸 鮎美 様 石丸 鮎美 様  
磯本 睦美 様 磯本 睦美 様  
稲田なをみ 様 稲田なをみ 様  
井上 久美 様 井上 久美 様  
有動 史佳 様 有動 史佳 様

太田 まり 様 太田 まり 様  
大畑 千賀 様 大畑 千賀 様  
緒方 美佳 様 緒方 美佳 様  
尾瀬 順子 様 尾瀬 順子 様  
小野田純子 様 小野田純子 様  
小幡由喜子 様 小幡由喜子 様  
甲斐さゆり 様 甲斐さゆり 様  
柏原まつ子 様 柏原まつ子 様  
梶原 佳子 様 梶原 佳子 様  
加藤 和恵 様 加藤 和恵 様  
金子恵梨香 様 金子恵梨香 様  
釜付 彩乃 様 釜付 彩乃 様  
上村 尚子 様 上村 尚子 様  
川口 真紀 様 川口 真紀 様  
神田亜由美 様 神田亜由美 様  
岸岡 香織 様 岸岡 香織 様  
北川友梨絵 様 北川友梨絵 様  
木下 一予 様 木下 一予 様  
熊川 真実 様 熊川 真実 様  
熊本 早恵 様 熊本 早恵 様  
河野 潤子 様 河野 潤子 様  
河野 良美 様 河野 良美 様  
古賀 愛 様 古賀 愛 様  
見玉 百合 様 見玉 百合 様  
小林 旬子 様 小林 旬子 様  
坂上 謙二 様 坂上 謙二 様  
坂田 佳美 様 坂田 佳美 様  
阪梨由希子 様 阪梨由希子 様  
佐々木彩美 様 佐々木彩美 様

佐々木 聖 様 佐々木 聖 様  
品川 成美 様 品川 成美 様  
下村智恵子 様 下村智恵子 様  
高津 典孝 様 高津 典孝 様  
高野千津留 様 高野千津留 様  
武末真紀子 様 武末真紀子 様  
田中 星帆 様 田中 星帆 様  
田中千保理 様 田中千保理 様  
田中 喜子 様 田中 喜子 様  
谷口 恵理 様 谷口 恵理 様  
鶴 由希子 様 鶴 由希子 様  
手塚 裕美 様 手塚 裕美 様  
土井 弥生 様 土井 弥生 様  
時津テル子 様 時津テル子 様  
仲 佳代子 様 仲 佳代子 様  
永田 美春 様 永田 美春 様  
中野 智恵 様 中野 智恵 様  
中原 弓華 様 中原 弓華 様  
中村 美紀 様 中村 美紀 様  
中村 優子 様 中村 優子 様  
中山 仁美 様 中山 仁美 様  
並里安希子 様 並里安希子 様  
成吉 美香 様 成吉 美香 様  
波多江つばき 様 波多江つばき 様  
花田知佳子 様 花田知佳子 様  
瀨地 絵里 様 瀨地 絵里 様  
原田 信子 様 原田 信子 様  
春田 京子 様 春田 京子 様  
久富 祐輔 様 久富 祐輔 様  
平井 孝直 様 平井 孝直 様  
平田 美紅 様 平田 美紅 様

深町 展子 様 深町 展子 様  
福田佑世子 様 福田佑世子 様  
藤井あゆみ 様 藤井あゆみ 様  
藤田 麻衣 様 藤田 麻衣 様  
藤原 享子 様 藤原 享子 様  
船津 文世 様 船津 文世 様  
松本 未希 様 松本 未希 様  
盈 日出子 様 盈 日出子 様  
宮崎 未来 様 宮崎 未来 様  
武藤佐知子 様 武藤佐知子 様  
森 さつき 様 森 さつき 様  
森田 真純 様 森田 真純 様  
森部 有香 様 森部 有香 様  
森本 文子 様 森本 文子 様  
諸藤 貴穂 様 諸藤 貴穂 様  
矢野 義弘 様 矢野 義弘 様  
山内 昭子 様 山内 昭子 様  
山内 舞子 様 山内 舞子 様  
山浦 愛子 様 山浦 愛子 様  
山川 稔 様 山川 稔 様  
山北 嘉代 様 山北 嘉代 様  
山口あずさ 様 山口あずさ 様  
山下 早苗 様 山下 早苗 様  
山下世里奈 様 山下世里奈 様  
山田加代子 様 山田加代子 様  
山手麻奈美 様 山手麻奈美 様  
山見真由美 様 山見真由美 様  
山本 たも 様 山本 たも 様  
奥賀田 恵 様 奥賀田 恵 様  
吉岡あかね 様 吉岡あかね 様  
吉田ひとみ 様 吉田ひとみ 様

吉田 恭子 様 吉田 恭子 様  
和田 夏希 様 和田 夏希 様  
大友 裕美 様 大友 裕美 様  
馬場ルミ子 様 馬場ルミ子 様  
企業等法人  
株式会社キヤ  
クリン製薬有限会社  
正見株式会社  
福岡證券株式会社  
福岡支社  
八十万円  
三菱電機  
ビルテックサービス  
株式会社九州支社  
五十万円  
ワタキューセイモア  
株式会社九州支社  
三十万円  
きくち胃腸科内科  
クリニック菊池陽介 様  
二十万円  
福岡エニックスフーズ 様  
福岡エニックスフーズ 様  
医療法人雅美会 様  
十万円  
三軌建設株式会社 様  
株式会社シシアコム 様  
有明社 御光サイクル 様  
またけ内科胃腸科  
クリニック眞武弘明 様  
十万円  
学校法人実教学園  
フチカミ医療福祉  
専門学校 様

**卒業生**  
十万円 畠山 定宗 様  
十万円 春田 淳 様  
五万円 小野 広幸 様  
三万円 佐藤 茂 様  
三万円 泉 良寛 様  
二万円 植田 治夫 様  
二万円 蒲池 紫乃 様  
古賀 学 様  
在学のご父母  
五百五十万円 曾我 洋一 様  
五十万円 横関 万里 様  
十万円 橋本 雅晶 様  
五万円 平野 雅弘 様  
三万円 延興 修司 様  
二万円 池水 泰明 様  
杉村 暢祐 様  
村山 史男 様  
吉田 恭子 様  
和田 夏希 様  
大友 裕美 様  
馬場ルミ子 様  
企業等法人  
株式会社キヤ  
クリン製薬有限会社  
正見株式会社  
福岡證券株式会社  
福岡支社  
八十万円  
三菱電機  
ビルテックサービス  
株式会社九州支社  
五十万円  
ワタキューセイモア  
株式会社九州支社  
三十万円  
きくち胃腸科内科  
クリニック菊池陽介 様  
二十万円  
福岡エニックスフーズ 様  
福岡エニックスフーズ 様  
医療法人雅美会 様  
十万円  
三軌建設株式会社 様  
株式会社シシアコム 様  
有明社 御光サイクル 様  
またけ内科胃腸科  
クリニック眞武弘明 様  
十万円  
学校法人実教学園  
フチカミ医療福祉  
専門学校 様

# Archive あの日からの贈り物

GIFT.3 未来を見据え、志と夢を抱いて、広がる

## 1959



1959年  
福岡大学七隈キャンパス全景  
当時の校地面積102,981㎡



七隈校地の視察風景。  
現在の工学部付近から

1934年  
福岡高等商業学校の建設予定地  
当時の校地面積88,456㎡

## 1934

1934年、88,456㎡。  
生徒数184人。  
福岡大学は未来を見据え  
ここから広がっていった。

1959年、102,981㎡。  
学生数4,827人。  
日本の高度経済成長とともに  
法・経済・商学部を擁し  
総合大学へと広がり始める。

2013年、592,511㎡。  
あの荒地から、緑豊かな現在まで  
キャンパス発展の原動力となったのは  
24万人余の卒業生、2万人余の在学生。  
その情熱、その積極進取—福大魂。  
常に未来を見据え、志と夢を抱いて  
福岡大学は、広がる。

1973

2004

1934

1956